「児童生徒・保護者アンケート結果のご報告

～みなさまの声とともに、よりよい学校づくりを目指して～

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。１学期末実施いたしました「児童生徒・保護者アンケート」では、温かい励ましや貴重なご意見を多数いただきました。心より感謝申し上げます。皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、今後の学校運営および生徒指導・学習指導に活かすための「結果のまとめ」についてご報告いたします。

【児童生徒アンケートより】

1　高い肯定的な回答（「Ａ：そう思う」＋「Ｂ：ややそう思う」）が得られた項目

「学校生活のルール順守」「ICT 機器（タブレット）の活用」「員への信頼感・話しやすさ」などの項目で９割を超える高い肯定的な回答が得られました。

○「学校や交通安全のルールを守っている」　・・・肯定 96.1%
○「いじめや仲間はずれを許さず相手の立場になって考える」　・・・肯定 92.8%
○「先生は話を聞いてくれる」　・・・肯定 95.3%
○「相談したり一緒に考えてくれたりする人がいる」　・・・肯定 90.7%
○「タブレットが勉強の役に立っている」　・・・肯定 96.2%

2　低い肯定的な回答の項目

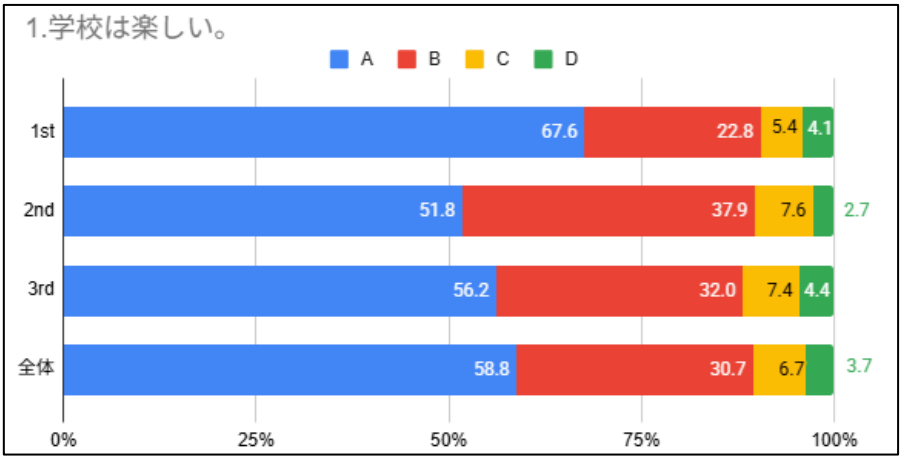
前期・後期課程別の先生とのかかわりは、授業を通しての肯定的回答は高いものの、日常のかかわりも含め、全体としての肯定的な回答が７割を下回っていました。

○他学年（課程）の先生とかかわったり、話したりする機会がある。　・・・肯定 63.4%

3　質問項目別結果

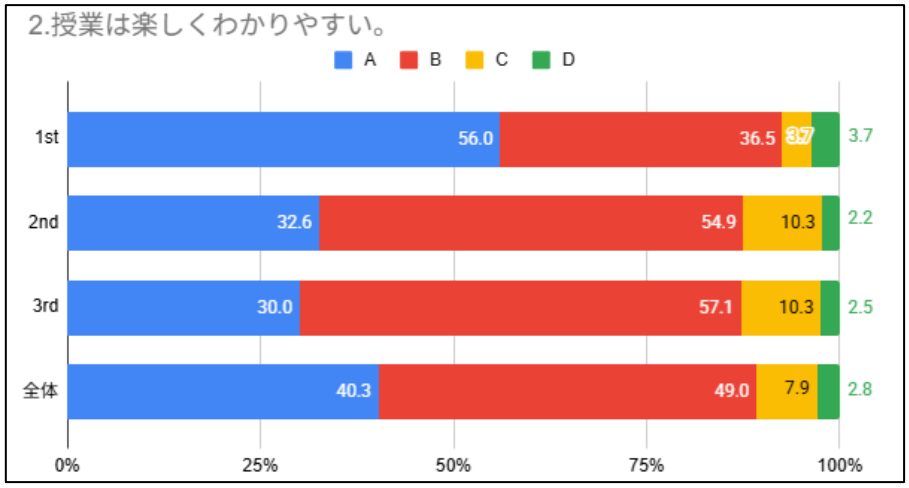
（Ａ：そう思う　Ｂ：ややそう思う　Ｃ：あまり思わない　Ｄ：思わない）

①学校は楽しい。



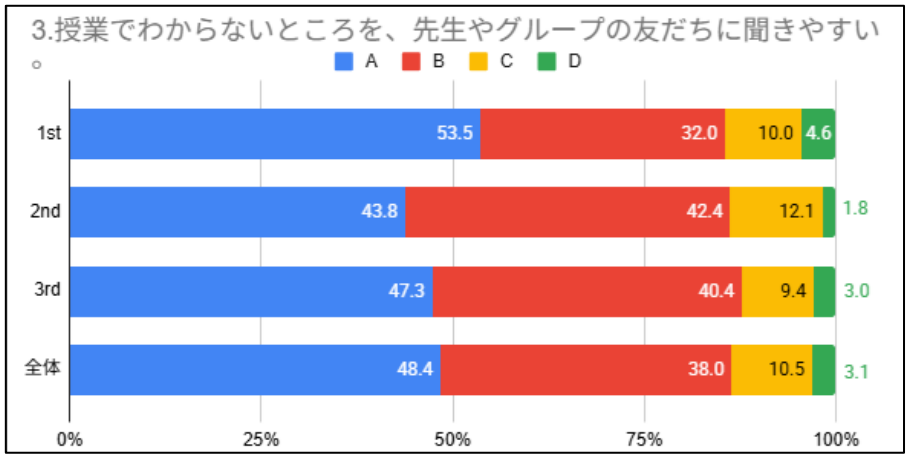
全体として肯定な回答が約９割を占め、学校生活に対する満足度は高いと言えます。

②授業は楽しく分かりやすい。



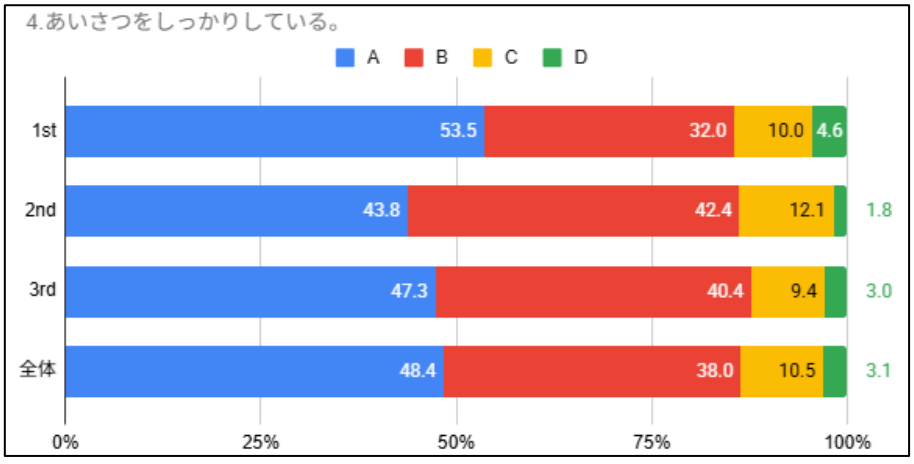
全体として肯定的な回答が約 9 割を占めています。特に、1st ステージで「楽しく分かりやすい」と回答する割合が高くなっています。

③授業でわからないところを、先生やグループの友だちに聞きやすい。



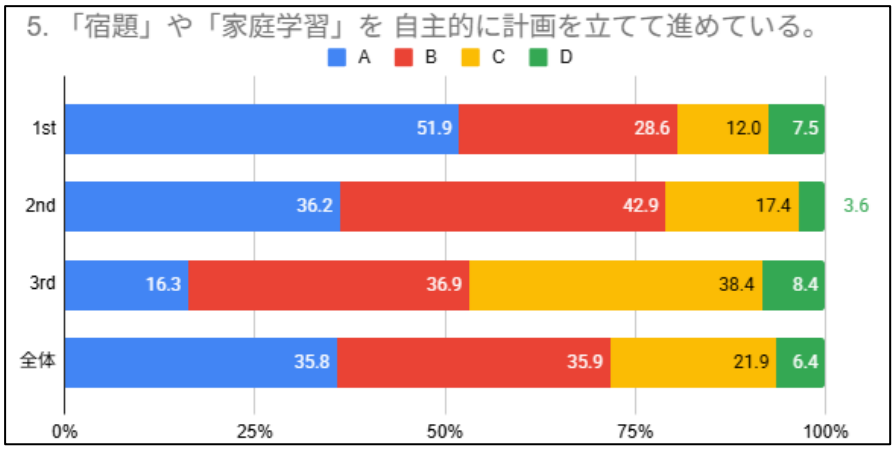
全体として肯定的な回答が 9 割弱を占めています。9 学年を通して「学び合い」を核とした授業づくりに取り組んでいる成果の表れと見ることができます。

④あいさつをしっかりしている。



全体として肯定的な回答が約 9 割弱となっています。今後もさらに自主的なあいさつの習慣の定着を促していきます。

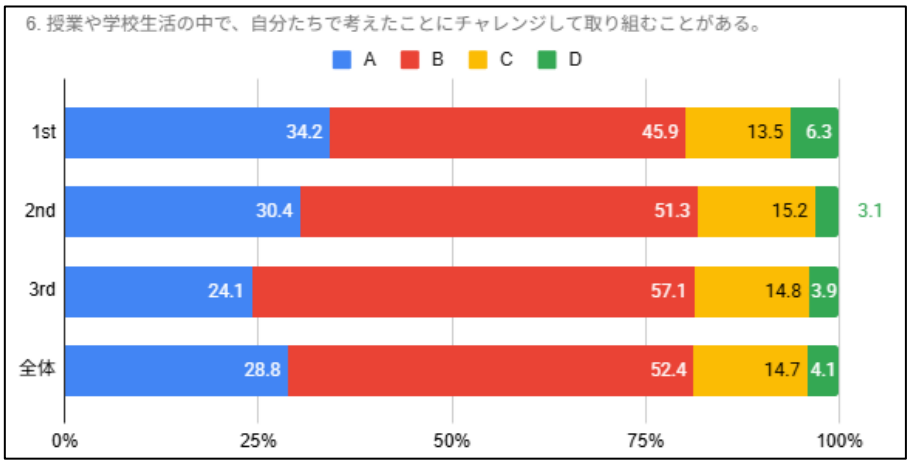
⑤「宿題」や「家庭学習」を自主的に計画を立てて（忘れずていねいに）進めている。



全体として肯定的な回答が約 7 割となっていますが、学年が進むにつれて、「A そう思う」の割合が下がり、課題意識が見られます。自主的かつ計画的に学習に取り組んでいる意識の低下が見られることから、2nd ステージでの自主学習の推進と指導支援、特に、後期課程では、活用しているスコラ手帳を有効に活用し、学習計画などを見える化しながら、家庭学習が進められるようにし、自己を振り返りながら子ども自身が次につなげていけるよう発達段階に応じた指導支援を強化します。

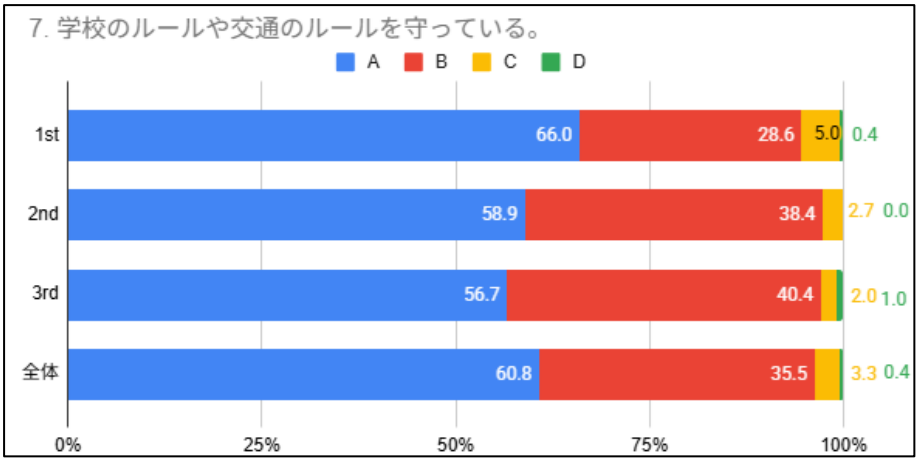
⑥授業や学校生活の中で、自分たちで考えたことにチャレンジして取り組むことがある。

（3 年生以上）



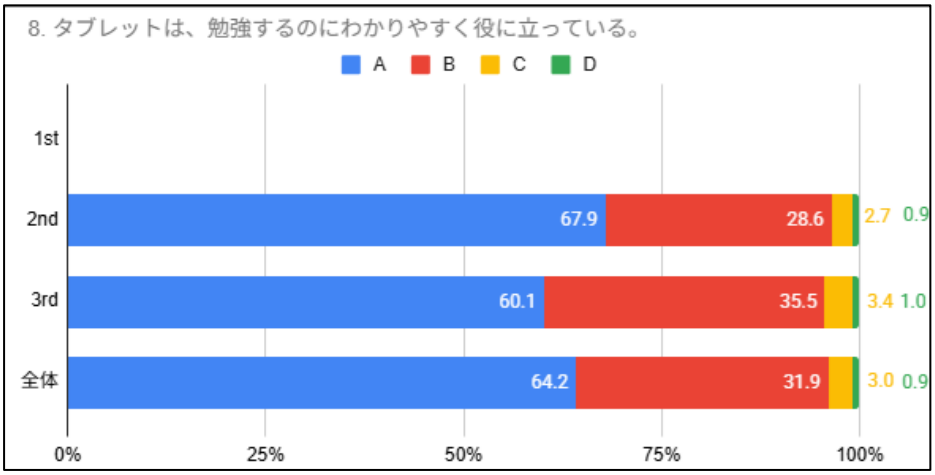
全体として肯定的な回答が約 8 割を占めています。授業や行事において、今後さらに自分たちの思いや考えが生かされた取り組みとなるよう、教育活動の創造に努めます。

⑦学校のルールや交通のルールを守っている。



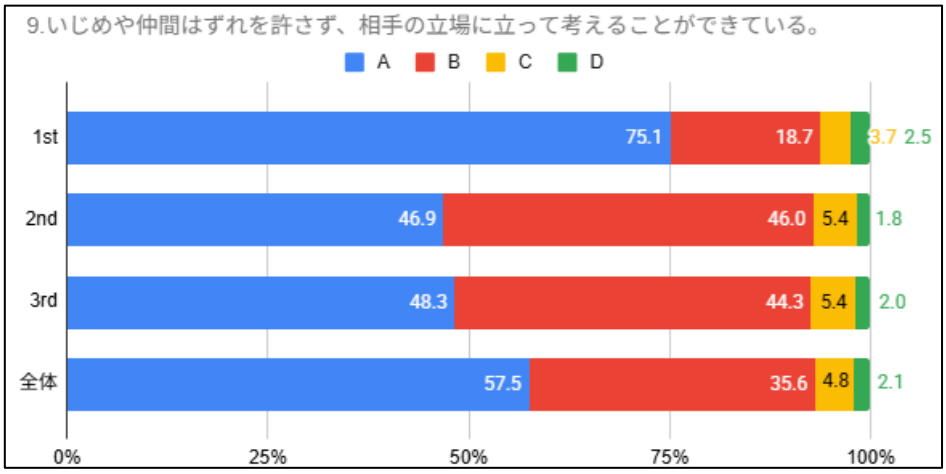
全学年で 9 割台半ばから後半の極めて高い肯定的回答を占めている。安全な学校生活の土台となっていることがうかがえます。

⑧タブレットは勉強するのに分かりやすく役に立っている。(5 年生以上)



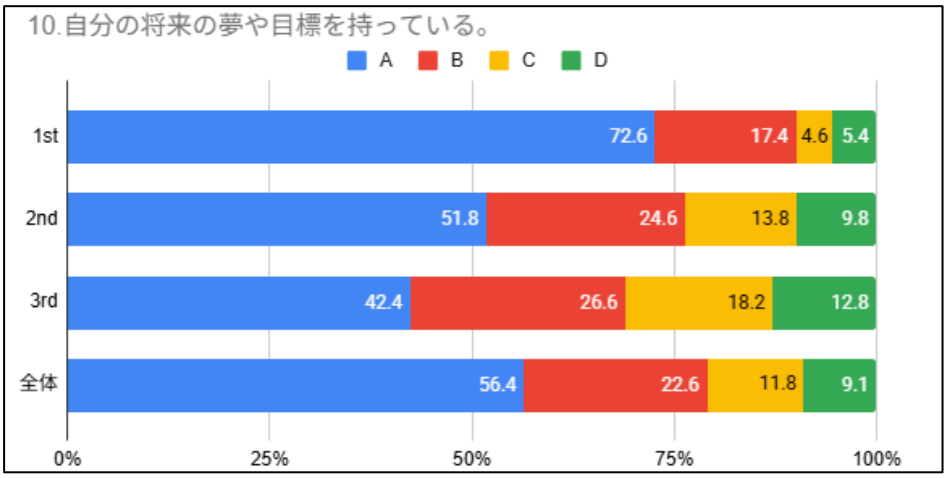
全体として肯定的な回答が 9 割台後半となっています。日常的な学びのツールとして定着しています。今後も応用的な学習やデジタルツールの良さを生かした活用の工夫、活用の質の高まりに努めます。

⑨いじめや仲間外れを許さず、相手の立場に立って考えることができている。



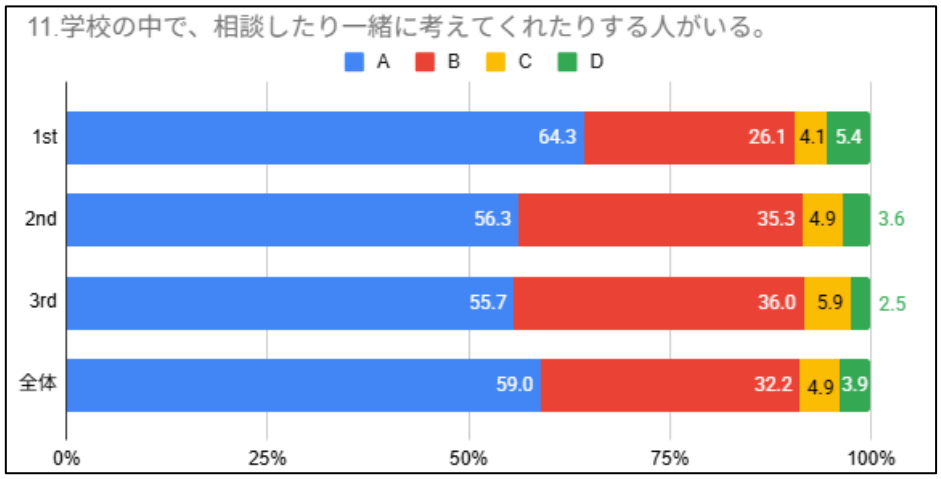
全体として肯定的回答が 9 割を超えています。人権意識や相手を思いやる心情を引き続き育んでいきます。

⑩自分の将来の夢や目標を持っている。



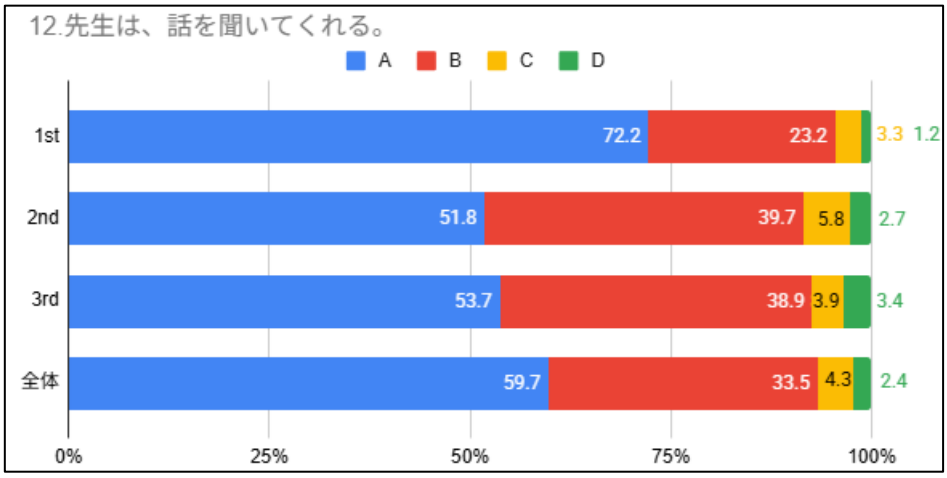
全体として肯定的な回答が約 8 割となっています。学年の発達段階に応じたキャリア教育や目標設定のサポートをさらに進めていく必要があると考えます。

⑪学校の中で相談したり一緒に考えてくれたりする人がいる。



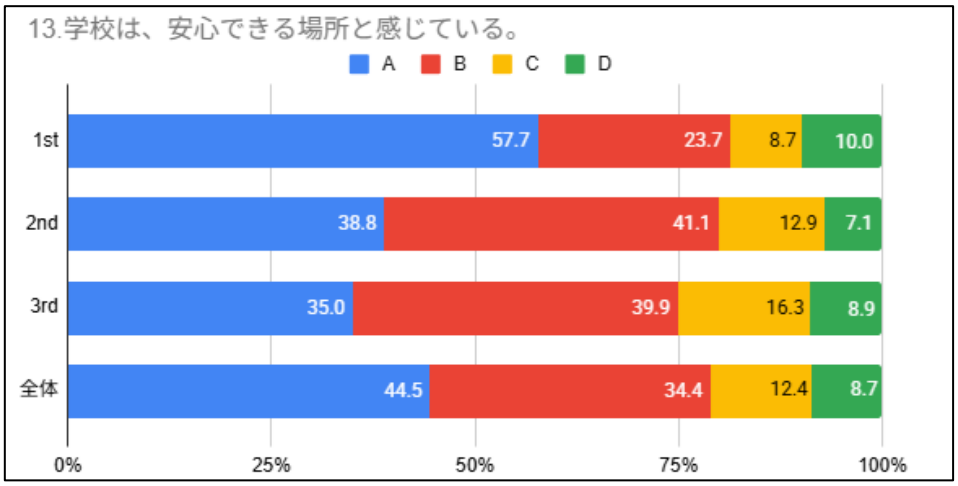
全体として肯定的な回答が約 9 割となっています。相談しやすい環境の継続的な提供に引き続き努めます。

⑫先生は、話を聞いてくれる。



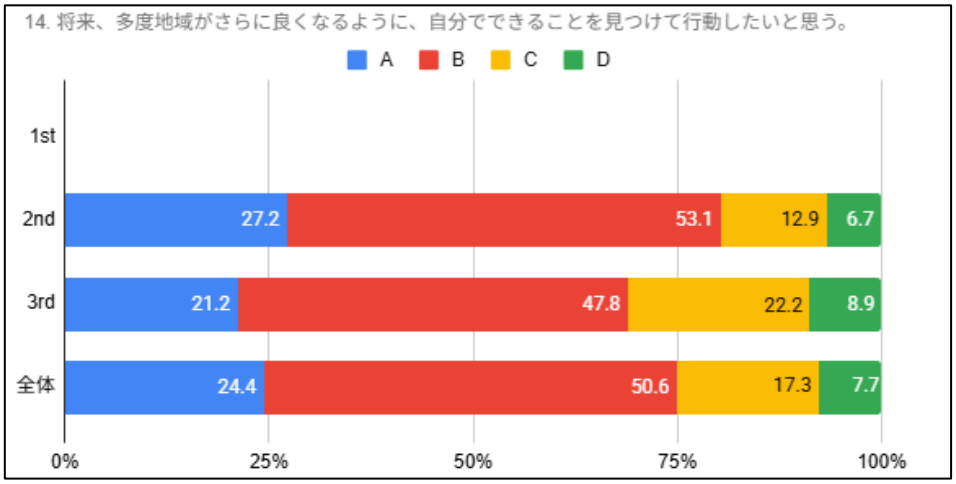
全体として肯定的な回答が 9 割台半ばとなっており、教員への信頼感や温かい人間関係が築かれつつあると考えます。

⑬学校は安心できる場所と感じている。



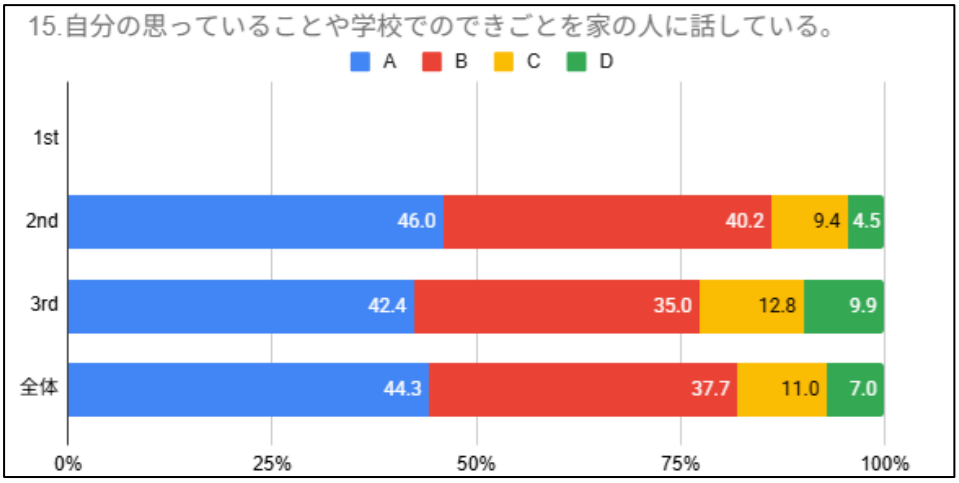
全体として肯定的な回答が 8 割弱となっています。特に、低学年で「安心できる」と回答した割合が高く、学年が進むにつれて、その割合は減少傾向にあることから、子どもたちの声を聴き、人間関係の深まりや変化に応じた安心感が得られるサポートの必要があると考えます。

⑭将来、多度地域がさらに良くなるように、自分でできることを見つけて行動したいと思う。(5 年生以上)



全体として肯定的な回答が 7 割台半ばとなっています。今後、すべての教科や総合的な学習の時間などを通して、身近な地域や社会との関わりの視点を大切にし、自ら課題を発見し、その課題の解決に向けて学習を進めていくような「探究的な学び」を推進します。そして、学年に応じて、ふるさと多度の良さや課題に気づき、学習を深めていきたいと考えます。

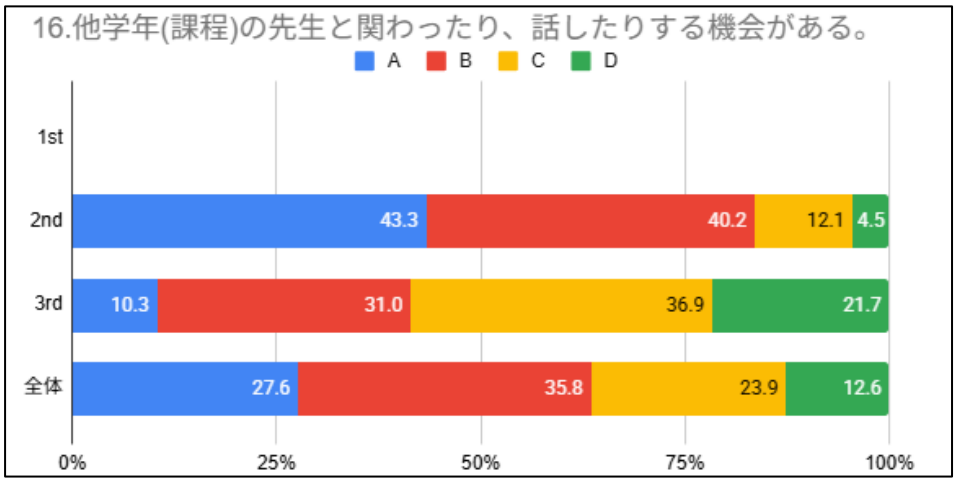
⑮自分の思っていることや学校でのできごとを家の人に話している。（5 年生以上）



全体として肯定的な回答が 8 割を超えています。

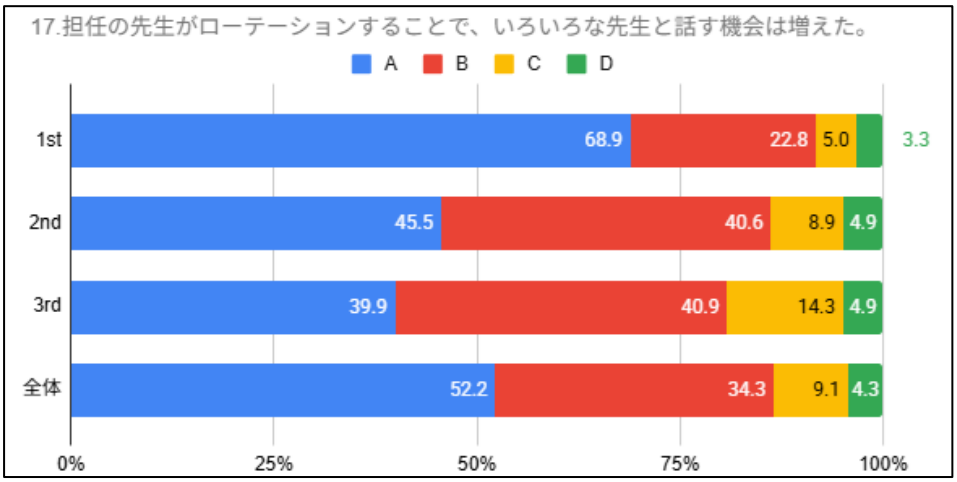
⑯他学年（課程）の先生と関わったり、話したりする機会がある。（後期課程）
後期課程の先生が教えてくれる教科は、分かりやすかったり楽しかったりする。

（5・6 年生）



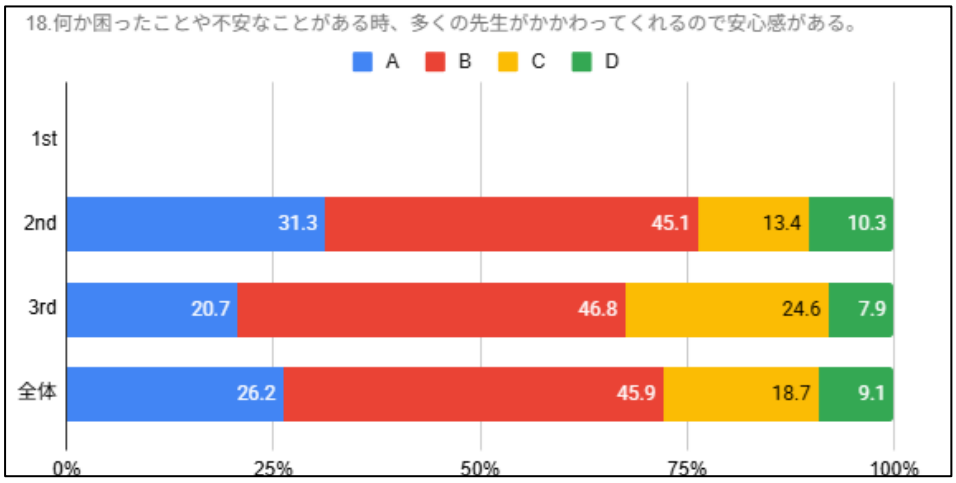
学年別で見ると、5 年生で、肯定的な回答が 9 割を超え、6 年生では 8 割台半ばを超えています。後期課程の先生の専門性を活かした乗り入れ授業の効果が表れていると考えます。また、7 年生でも、前期課程からの英語科乗り入れ授業を実施しており、関わりを実感している傾向にあります。全体で見ると、肯定的な回答が 7 割を切る結果となっていることから、施設一体型義務教育学校の特色として、前期課程の教員との接点を行事や異学年交流より増やしていく工夫に努めていきます。

⑰担任の先生がローテーションすることで、いろいろな先生と話す機会は増えた。（後期課程）教科によって担当の先生が違うのでいろいろな先生は話すことができる。（5・6 年生）学年に何人かの先生がいるのでうれしい。（1～4 年生）



全体として肯定的な回答が 8 割台半ばを超えています。チーム担任、教科担任により、多角的な関わりが生まれていると考えます。

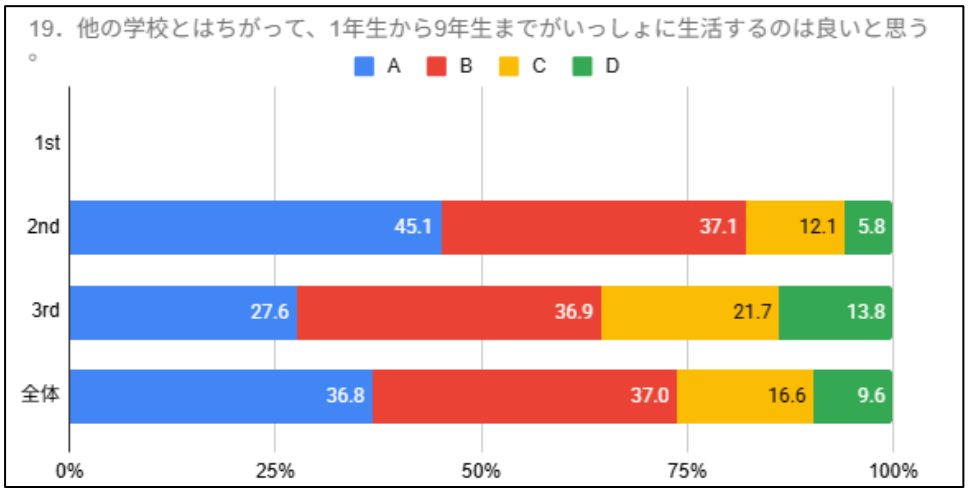
⑱何か困ったことや不安なことがある時、多くの先生が関わってくれるので安心感がある。（5 年生以上）



全体として肯定的な回答が 7 割程度となっています。複数の教員で見守る支援体制をより機能させ、困り感を持った際に相談しやすい環境を整えていきます。

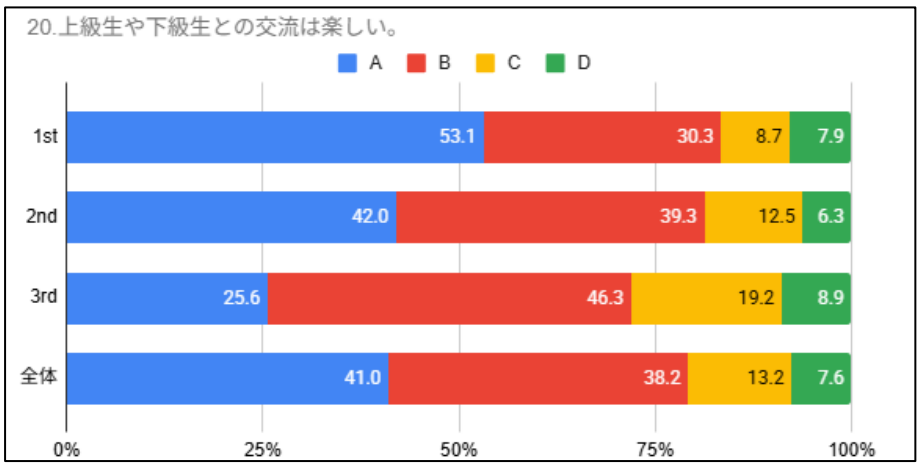
⑲他の学校とはちがって、1 年生から 9 年生がいっしょに生活するのは良いと思う。

（5 年生以上）



2nd ステージでは肯定的な回答が 8 割を超えています。下級生の子どもたちが上級生の姿を通して学んだり、関わりに感謝したりする意識が高くなっていることが分かります。

⑳上級生や下級生との交流は楽しい。



全体として肯定的な回答が約 8 割となっています。特に、「よくあてはまる」と回答している割合が高い学年として、1・2 年生と 6 年生があげられるところが特徴的であると考えます。今後も異学年交流を推進し、子どもたちの成長や楽しさにつなげ、リーダー性を発揮する場としていきたいと考えています。

㉑１学期を振り返ってがんばったことや、多度学園をもっとよくするためにあなたの考えや提案があれば書いてください。

分類	件数	主な内容
①自己の成長・目標	123	宿題、漢字 50 問テスト、計算、体育・部活、お手伝い
②異学年交流、行事	79	全校レク、異学年で遊ぶ、スポーツ大会、前・後期の関わり、交流イベント
③学校生活の環境、ルール	42	服装、更衣室、ロッカー、給食時間、キーホルダー
④施設・設備・道具	31	ホワイトボード、ボール・遊具、エアコン調整
⑤配慮、マナー、人間関係	18	廊下の安全、テスト期間中の配慮、生徒同士の関わり・マナー向上
⑥その他	11	ケンカしないようにする

＜具体記述（抜粋）＞

①・５０問テストをがんばった・宿題がんばった（3 年複数）（4 年複数）
・べんきょうをがんばった（1 年多数）（2 年多数）
・お手伝いをがんばった（3 年複数）（4 年複数）
・習い事をがんばった（1 年多数）
・いろんなことにチャレンジした（3 年）

②・もっと上級生や下級生と交流する機会を設けたほうがいい
（7 年複数）（8 年複数）（9 年複数）（6 年複数）（5 年複数）
・前期過程との交流がないので後期課程も長い休みは遊んでも外で遊んでも良い（9 年）
・交流する行事を増やす（7 年）（5 年）
・学校全体で行事をする（8 年）（5 年）
・前期課程と後期課程の子の交流をもっと増やすためになにか行事があるたびに前期課程のペアに後期課程がなる（8 年）
・毎年学年祭的なものがあると嬉しいです。セカンド、サードステージだけでもいいのでそういう行事が毎年あると嬉しいです（5 年）
・もう少しスポーツをして体作りを（8 年）
・球技大会とかがほしい（8 年）
・授業のレポートを作って、他の学年に発表したりする取り組みを（8 年）
・後期課程の 3 学年でレク（8 年）
・地域の人との関わりをもっと増やしたい（5 年）

③・制服じゃなくてジャージで過ごしたい・毎日制服は動きにくいし、不便で熱がこもって暑い・制服を毎日着るのではなく、必要な時だけに着る・体操服で授業がいいし着替えの時間が無駄（7 年複数）（8 年複数）（9 年複数）

・服装を、私服にする（7 年）
・いろんな靴下を履きたい（9 年）
・キーホルダーをたくさんつけたい（9 年）
・給食の時間がとても短くて早食いになってしまう（7 年）
・E タイムの時間を減らす（7 年）
・テスト中に前期課程はもう少し静かに・テストの際の前期課程時間割変更（8 年）
・自分のクラス以外の他の教室にも入れるようにしてほしい（7 年）（9 年）
・最近、冷房がキツく、とても寒いことが多いです。ブレザー生徒はジャケットがあるためカーディガンは禁止とのことですが、ブレザーとカーディガンは薄さにかなり差があるのに加え、夏場にブレザーを着用するのは、見た目もかなりおかしなことになると感じています。オシャレ目的ではなく、あくまで風邪をひかないように体温調節がしたいため、夏場でもブレザーを着用している生徒もカーディガンの使用を許可してほしい（9 年）
・通学距離が遠く歩きで登校しているが、9 年生は荷物が多く、肩などが痛くなるため、せめて 0.1 キロの誤差は許して欲しい（9 年）

④・ほうきを増やして欲しい（7 年）
・更衣室を使えるようにしてほしい（7 年）
・ホワイトボードはペンがすぐカスカスになって見えにくくなる（7 年）
・収納場所を増やす・ロッカーを大きくする（7 年複数）（8 年複数）
・自転車の駐輪場をもっとでかくする（7 年）（9 年）
・後期も外で遊べるボールが欲しい（8 年複数）
・もうちょっとボールがあったらみんな楽しめると思う（6 年）
・みんなの希望を答える「希望ボックス」を設置する（8 年）
・放課後の部活でグラウンドで練習しているときに野球部やサッカー部のボールがたくさん飛んできて危ない（9 年）
・15 分休みを作って欲しい（5 年）
・放課後に多度学園で遊べるようにしてほしい（5 年）
・多度っこテラスでセカンドステージの人達も遊べるようにして欲しい（5 年）

⑤・学校内で走る人がいるので、そういう人を減らせると良い（7 年）（5 年）
・お互い喜びや思っていることを認め合う（7 年）
・生徒の対応の仕方を改善してほしい（9 年）
・変な手助けとかしないでほしい、自分の手の届く範囲は自分でやる（5 年）

⑥・自分ができることを一人一人考えて行動する（7 年）
・このままでいい（5 年）
・あいさつをもっとする（5 年）
・いじめをしないこと。暴言を言わない（5 年）

＜自由記述から見えてくる思いや意見の傾向＞

○異学年交流をしたいという全校的な思いが多いことが分かります。限られた時間の中で、いかに子どもたちの思いや発想を活かしながら異学年交流行事や学年・ステージごとの活動を創出していくかが、学校生活の満足度を上げていくことにつながると考えます。
○後期課程の生徒が感じている「制服着用のルール」「更衣室やロッカーの狭さ」「定期テスト時の静かさの確保」などの要望が挙げられています。前期児童からは、「遊びの時間や場所の確保」などの要望が挙げられています。アンケートをきっかけに、学校の教育課程として改善していくことと、児童生徒の声を拾い、生徒会活動や学級・学年会などを通して児童生徒自ら考え、よりよい方向性を探り、話し合いを進めていくことの両輪で、さらによりよい学校生活を築いていく必要があると考えます。すぐに改善できることやしばらく時間がかかることもあると思いますが、ルールの柔軟な運用や現時点で可能な環境整備の検討をしていきます。

【保護者アンケートより】（全校児童生徒数 792　アンケート回収 474 ）

1　児童生徒との共通（類似）項目で９割を超える高い肯定的な回答が得られました。

○「お子さんは、学校は楽しいと言っている。」　・・・肯定 93.9%
○「お子さんは、命の大切さやルールを守ろうとする意識が育っている。」　・・・肯定 96.8%
○「子どもたちは、いじめや仲間外れをしないなど、人権を尊重する意識が育っている。」　・・・肯定 94.9%
○「先生は、子どもの話を聞いて、適切に対応している。」　・・・肯定 91.9%
○「異学年交流（上級生と下級生の関わり）は、子どもの成長につながっている。」　・・・肯定 93.5%

2　学校が力を入れている「授業づくり」「安心感の醸成」「保護者・地域とのかかわり」「情報発信」について９割を超える肯定的な回答が得られました。

○「学校は、子どもが自分で考え、主体的に学ぶ授業づくりを進めている。」　・・・肯定 92.2%
○「学校は、お子さんにとって安心できる場所になっている。」　・・・肯定 92.2%
○「学校は、保護者や地域の方とのかかわりを大切にして子どもの教育にあたっている。」　・・・肯定 93.2%
○「学校は、わかりやすいお知らせや情報発信に努めている。」　・・・肯定 92.0%

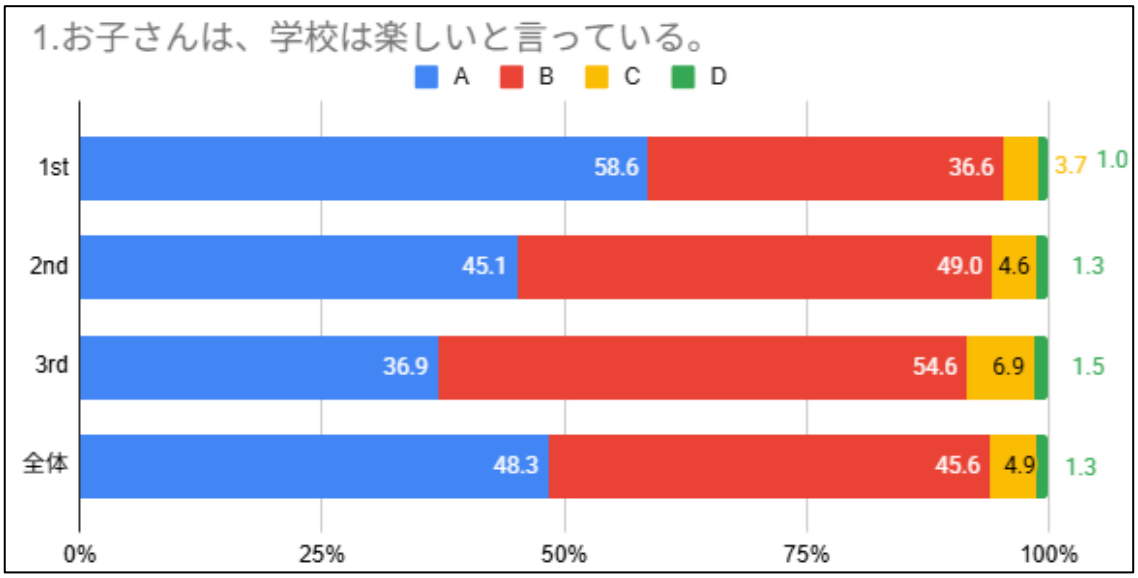
3　複数の教員による多面的な子どもたちの見守りや指導支援の良さが感じられるようさらなる工夫と情報発信が必要と考えます。

○「チーム担任制で複数の先生が対応してくれることに安心感がある。」　・・・肯定 75.1%

4　質問項目別結果

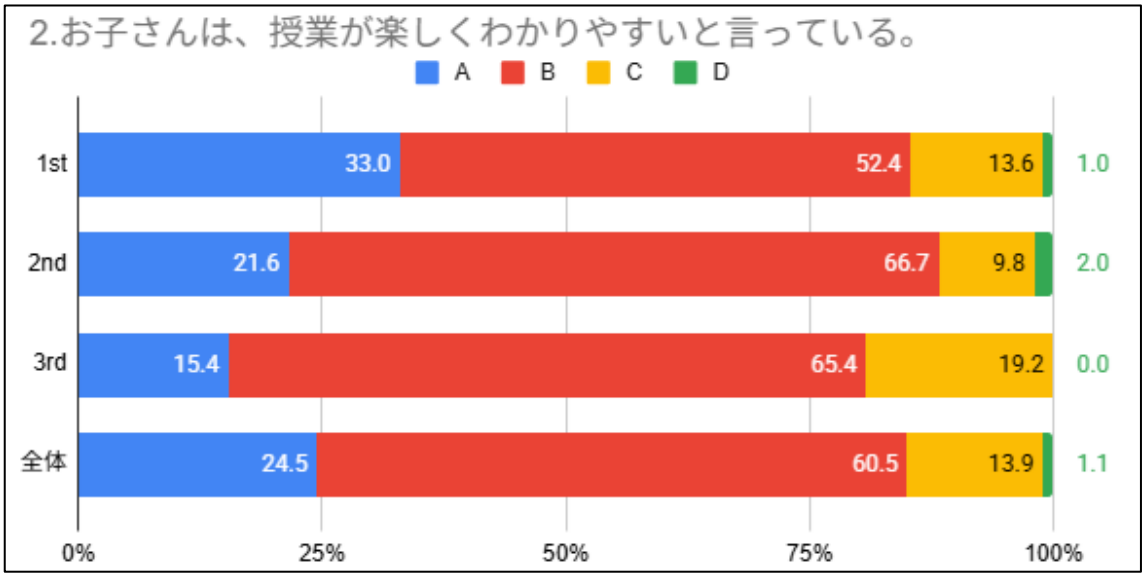
（A：そう思う　B：ややそう思う　C：あまり思わない　D：思わない）

①お子さんは、学校は楽しいと言っている。



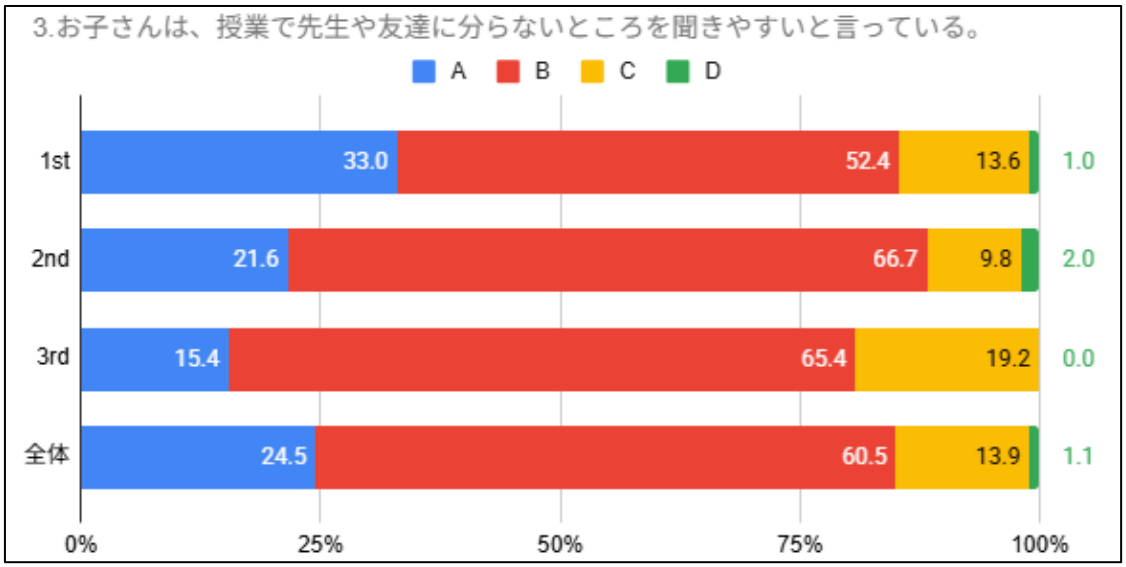
全学年において肯定的な回答が 9 割台半ばとなっています。児童生徒アンケート結果とほぼ同等の値になっています。特に、1 年生で「そう思う」の割合が最も高く、学校生活への楽しさを感じていることが分かります。

②お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。



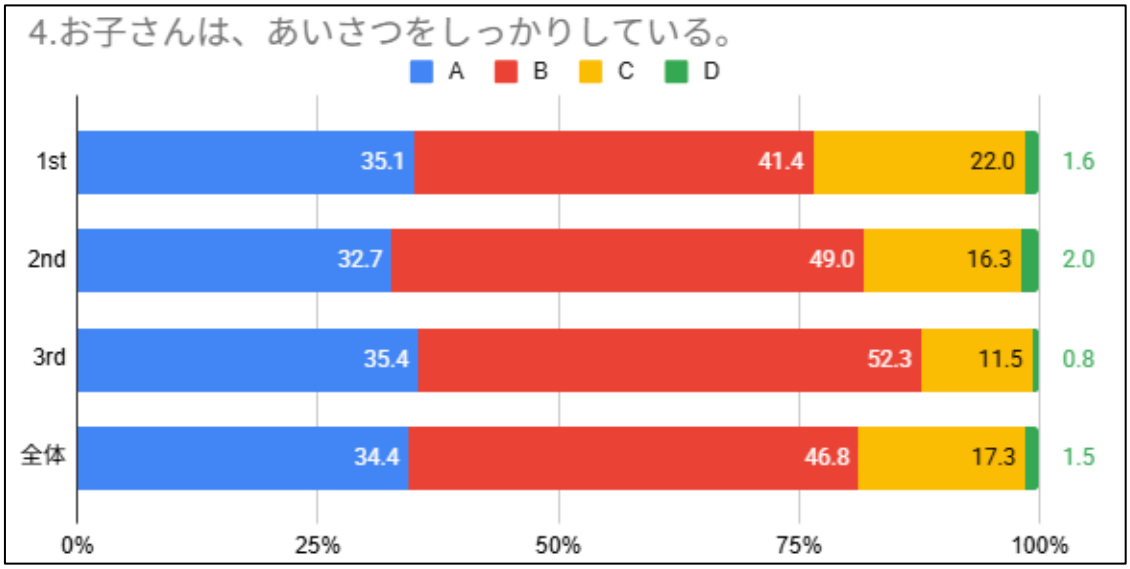
全体として肯定的な回答が 8 割台半ばとなっています。児童生徒アンケート結果とほぼ同等の値になっています。今後も、学年の実態に応じた「学び合い」や学習意欲向上への取組を進めていきます。

③お子さんは、授業で先生や友達に分からないところを聞きやすいと言っている。



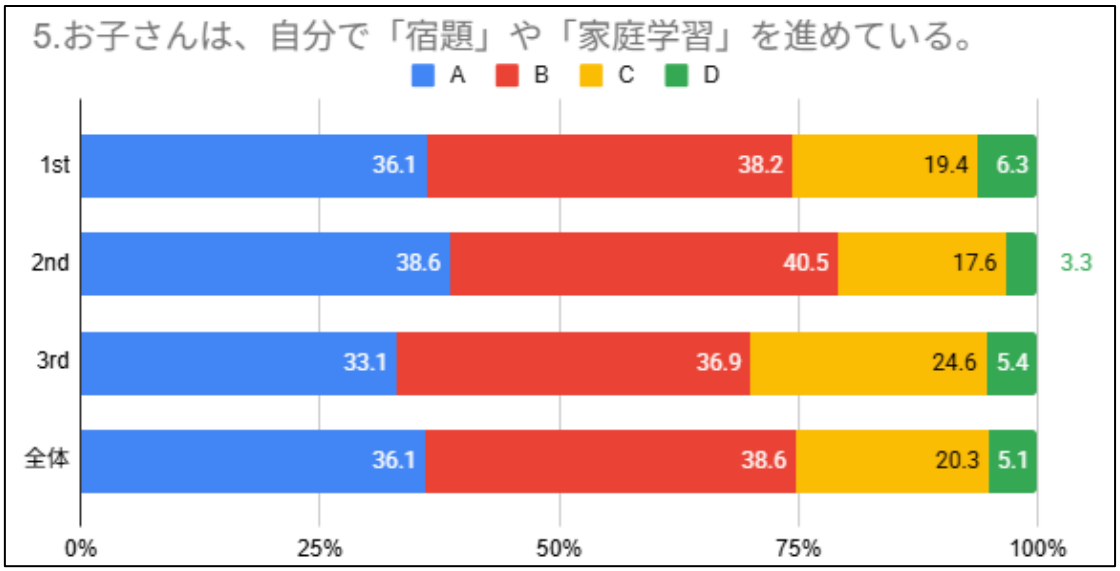
全体として肯定的な回答が 8 割弱となっています。児童生徒アンケート結果と比較して、ほぼ同等の値となっています。

④お子さんは、挨拶をしっかりしている。



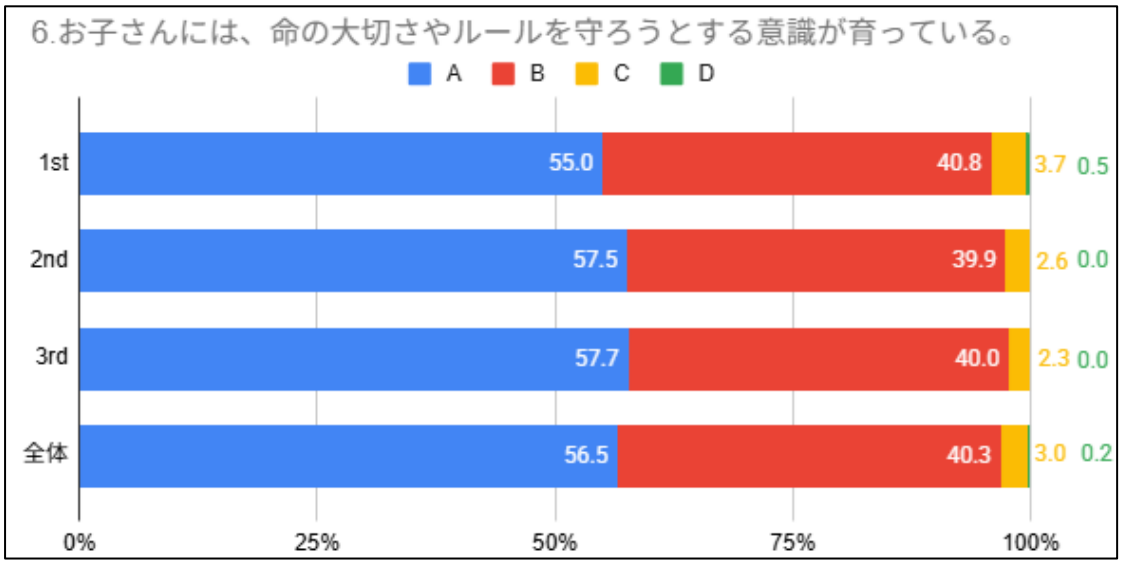
全体として肯定的な回答が 8 割を超えています。児童生徒アンケート結果と比較して、やや低い値となっていますが、後期課程において、肯定的回答がより高くなっているところが特徴的です。校内でも、特に後期課程の生徒は気持ちの良いあいさつをしている印象です。

⑤お子さんは、自分で「宿題」や「家庭学習」を進めている。



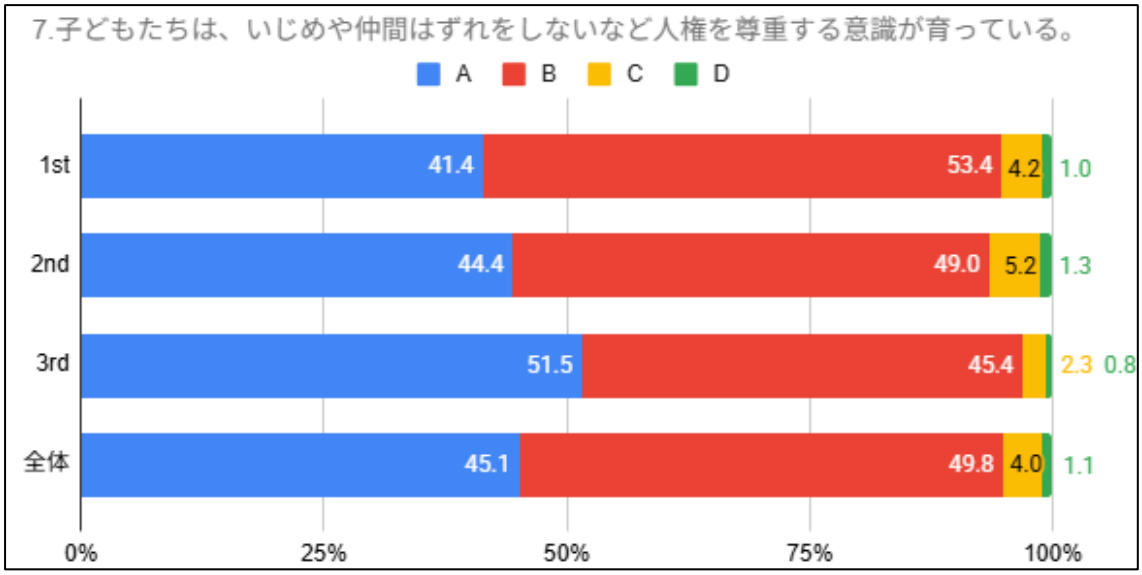
全体として肯定的な回答が 7 割台半ばとなっています。児童生徒アンケート結果とほぼ同等の値になっています。学年による値のばらつきが見られることから、実態に応じた指導支援を継続していきます。

⑥お子さんは、命の大切さやルールを守ろうとする意識が育っている。



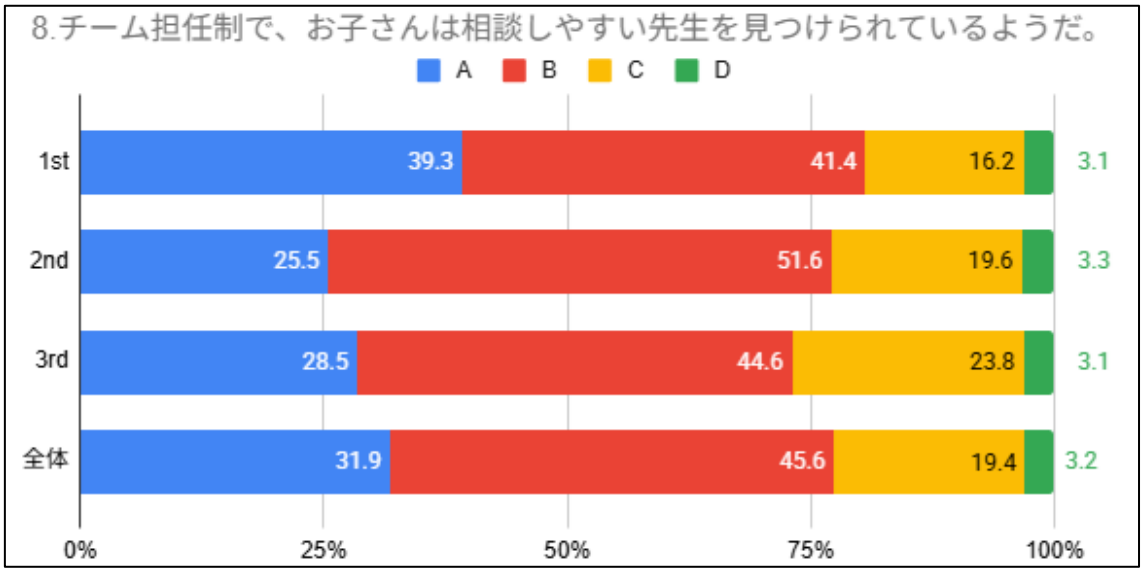
全体として肯定的な回答が 9 割台半ばを超え、家庭・地域および学校で規範意識づくりの成果が見られると考えます。児童生徒アンケート結果ともほぼ同等の値になっています。

⑦子どもたちは、いじめや仲間外れをしないなど、人権を尊重する意識が育っている。



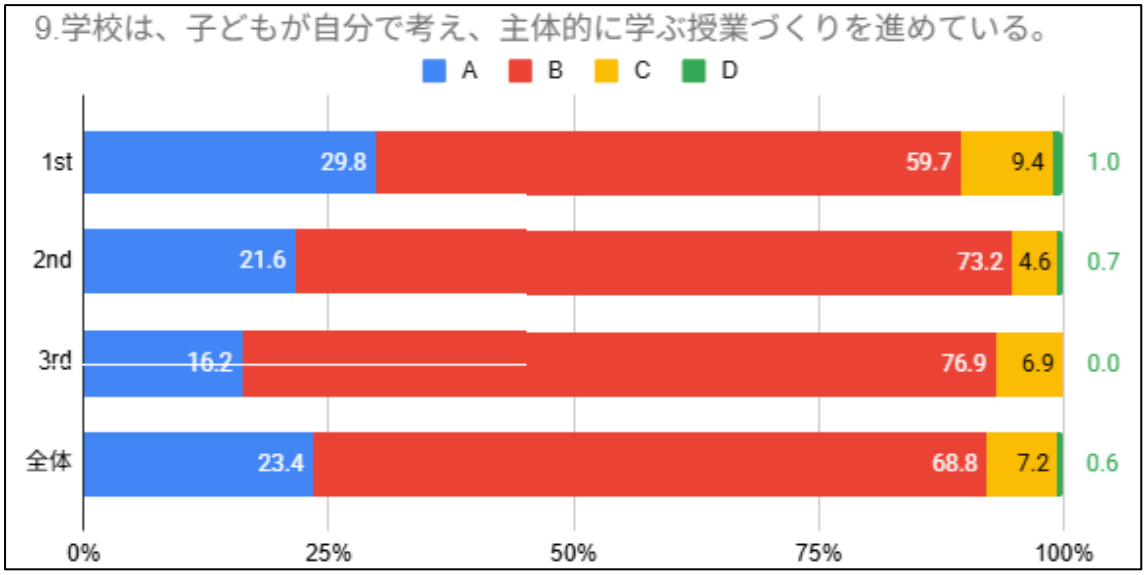
全体として肯定的な回答が 9 割台半ばとなっており、人権尊重の意識が育まれていると考えられます。児童生徒アンケート結果ともほぼ同等の値になっています。

⑧チーム担任制で、お子さんは相談しやすい先生を見つけられているようだ。



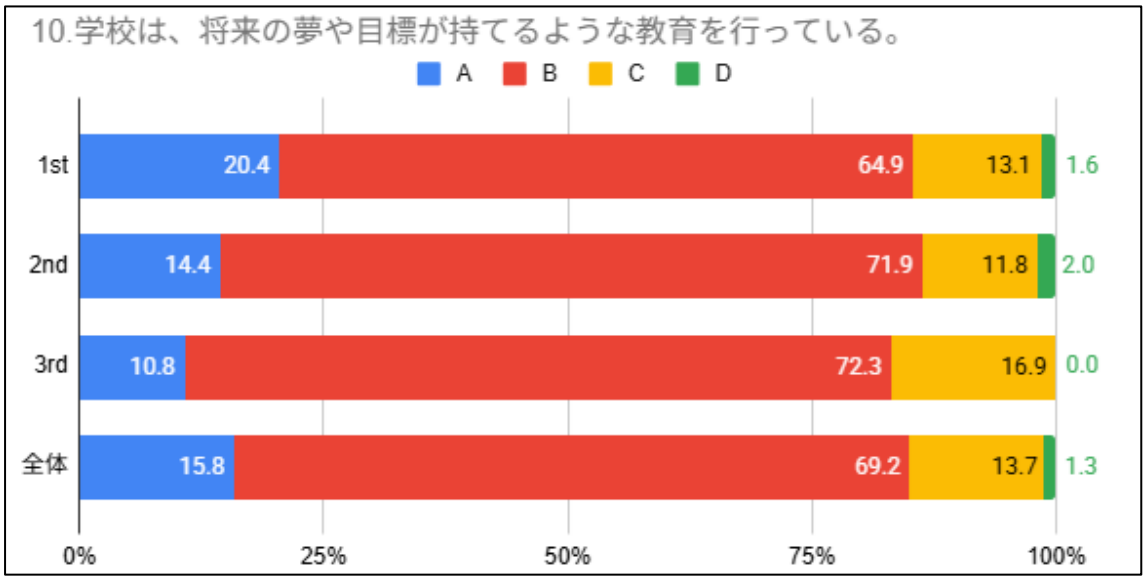
全体として肯定的な回答が 8 割弱となっています。学年が上がるにつれて肯定的回答の割合が減少する傾向にあります。発達段階に応じた教員からの声掛けを進めるなど、さらなる相談しやすい体制づくりに努めます。

⑨学校は、子どもが自分で考え、主体的に学ぶ授業づくりを進めている。



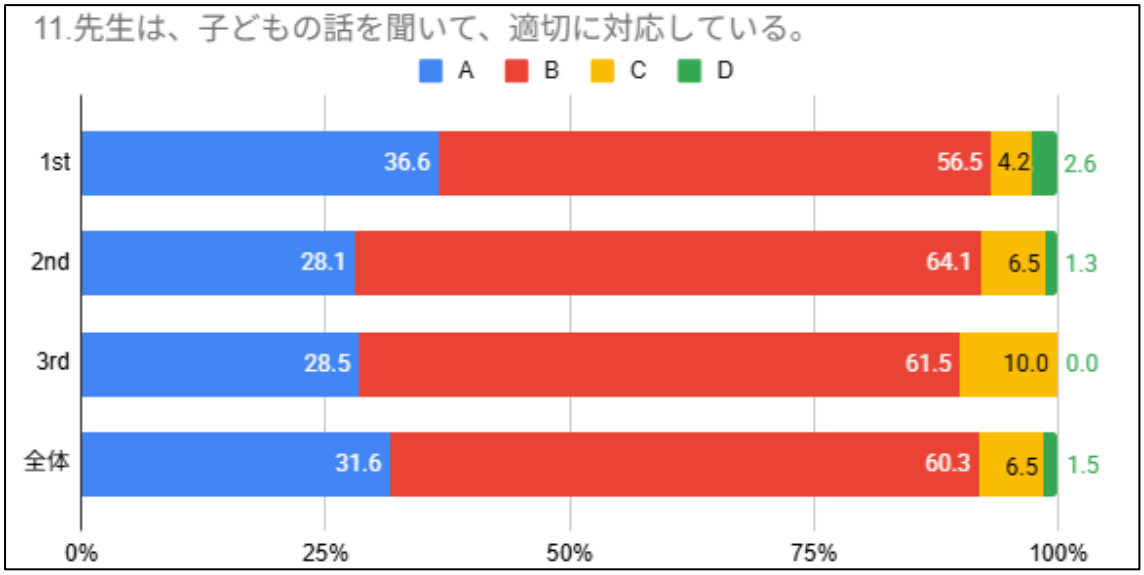
全体として肯定的な回答が９割を超えています。今後も授業参観や学校・学年だよりなどを通して、授業の様子を知っていただけるようにしていきます。

⑩学校は、将来の夢や目標が持てるような教育を行っている。



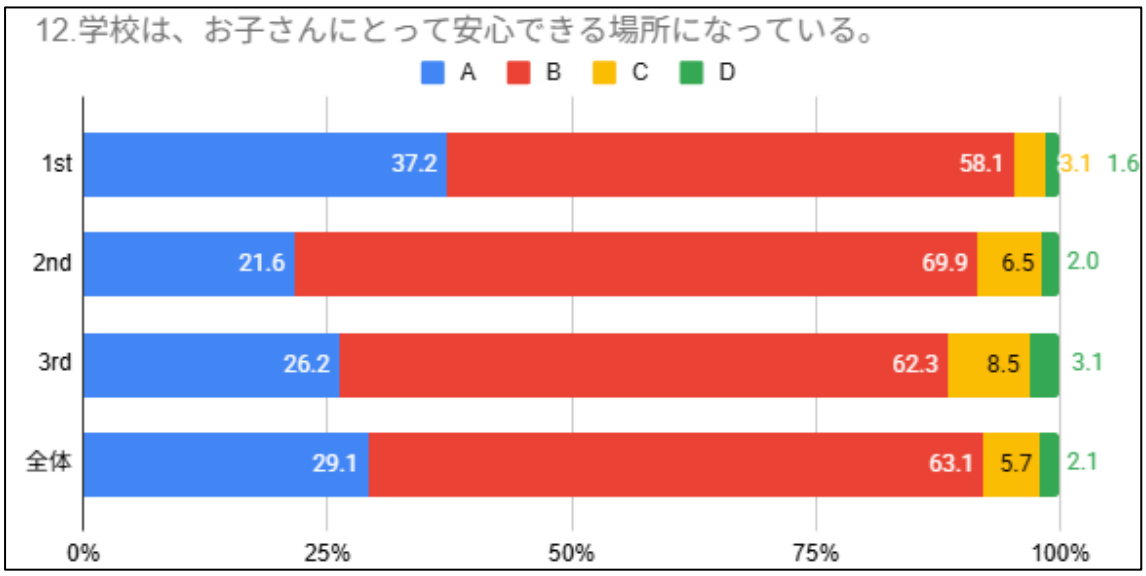
全体として肯定的な回答が ８ 割台半ばとなっています。児童生徒アンケートの結果と同等の値となっています。自分には得意なことがある、続けている好きなことがある、目標をもって頑張っていることがあると思えることは、広い意味での学力や生きる力を身に付けていくことにつながっていくと考えます。自己肯定感や自己有用感を高めていけるような教育の創造に努めていきます。

⑪先生は、子どもの話を聞いて、適切に対応している。



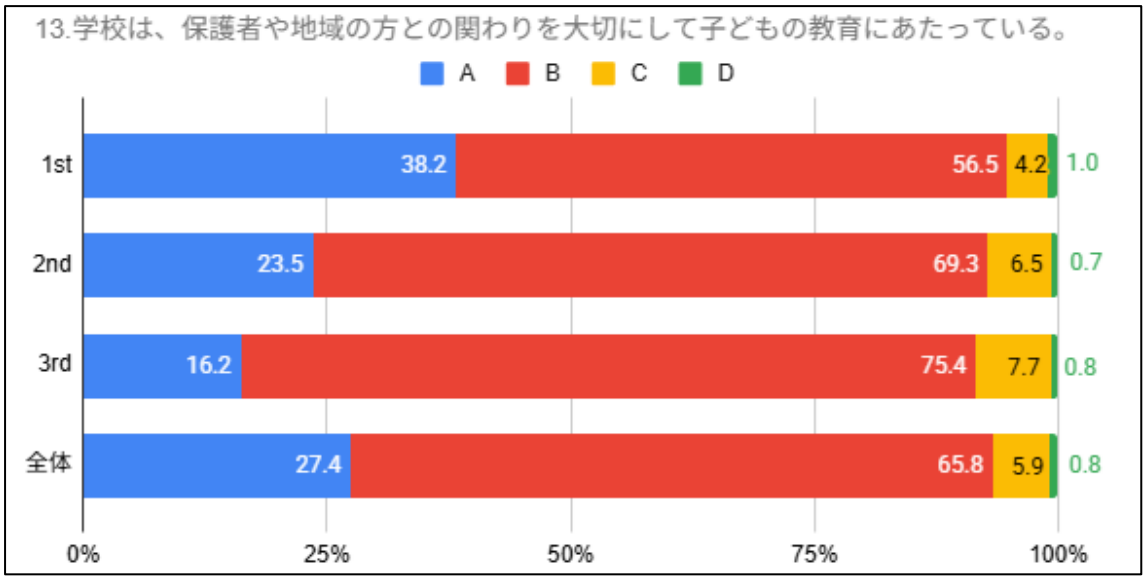
全体として肯定的な回答が 9 割を超えています。児童生徒アンケートの結果と同等の値となっています。これからも子どもたちに寄り添って傾聴し、指導支援に努めていきます。

⑫学校は、お子さんにとって安心できる場所になっている。



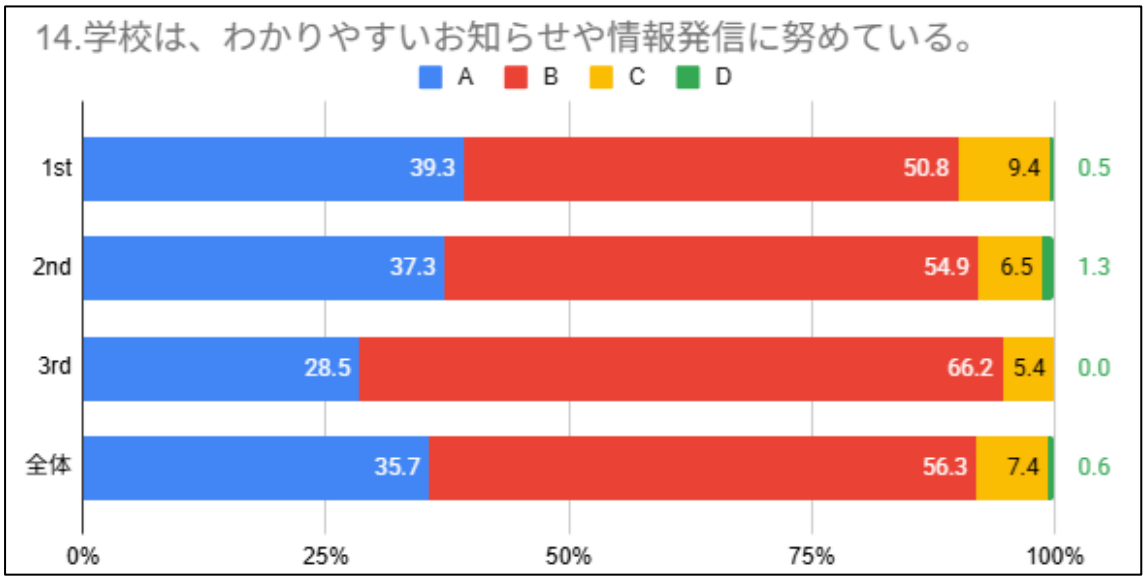
全体として肯定的な回答が 9 割を超えています。新設校として開校し、学校経営の重点の 1 つとして、「子どもたちの安心・安全」を確保していくことを上げ、教育活動を進めてきている成果が見られていると考えます。児童生徒アンケートの結果では、保護者アンケート結果よりも肯定的回答がやや低くなっているので、どの子にとっても学校が安心できる場所と実感できるようになるようさらに努めていきます。

⑬学校は、保護者や地域の方との関わりを大切にして子どもの教育にあたっている。



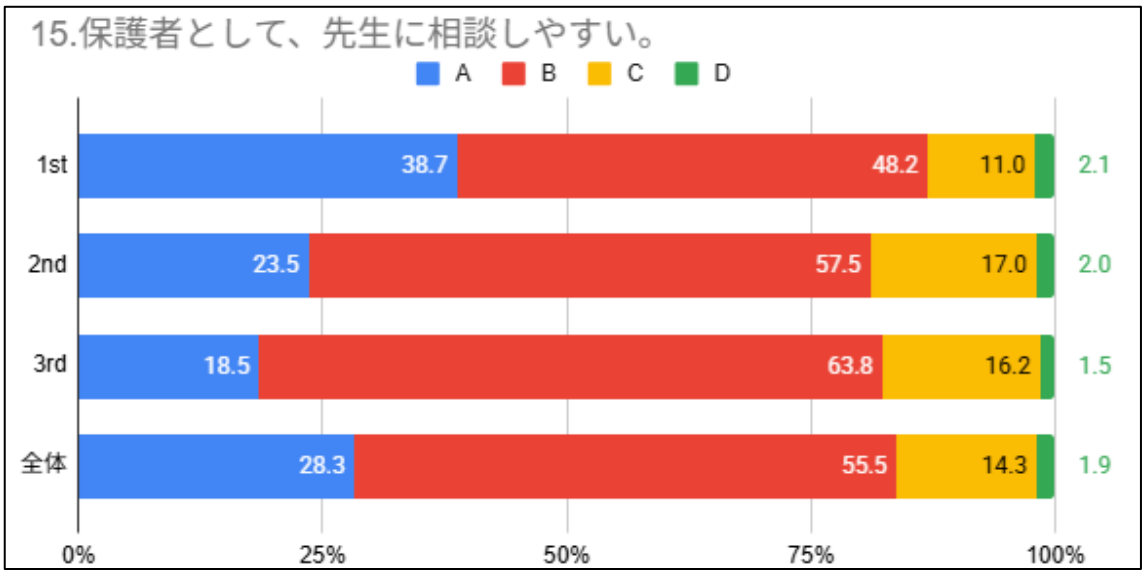
全体として肯定的な回答が９割を超えています。今後も、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

⑭学校は、わかりやすいお知らせや情報発信に努めている。



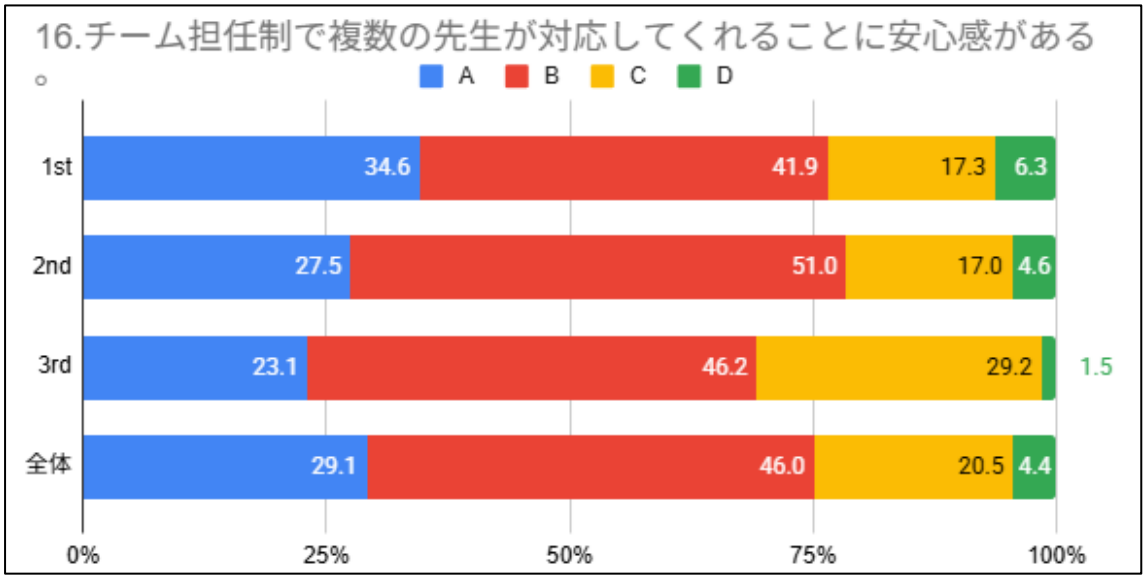
全体として肯定的な回答が９割を超えています。特に、後期課程で肯定的な回答の割合が高くなっています。今後も、連絡事項だけでなく、子どもたちの学びの様子などを発信していきます。

⑮保護者として、先生に相談しやすい。



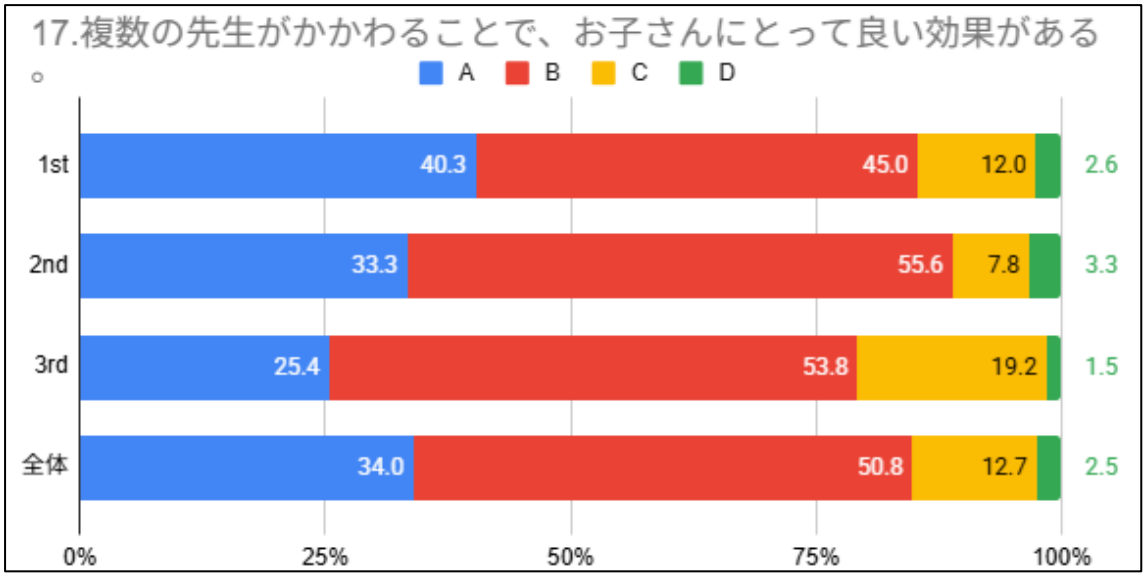
全体として肯定的な回答が 8 割台半ばとなっています。今後とも担任団との相談機会の確保や連絡手段の工夫を図っていきます。

⑯チーム担任制で複数の先生が対応してくれることに安心感がある。



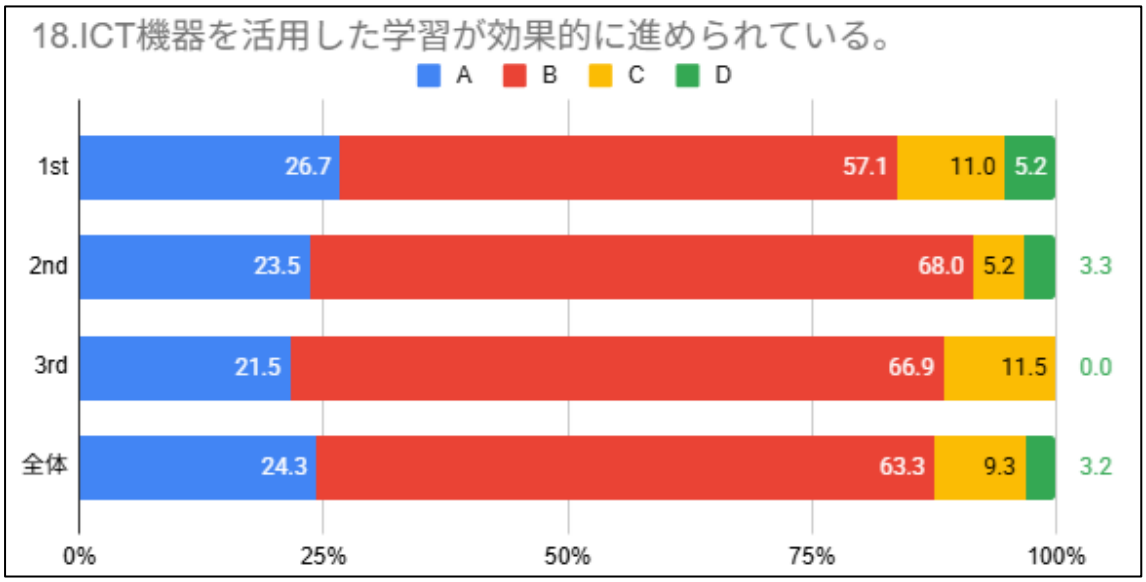
全体として肯定的な回答が 7 割台半ばとなっています。複数の教員による多面的な子どもたちの見守りや指導支援の良さが子どもたちや保護者の皆様に感じられるようさらなる改善に努めます。

⑰複数の先生が関わることで、お子さんにとって良い効果がある。



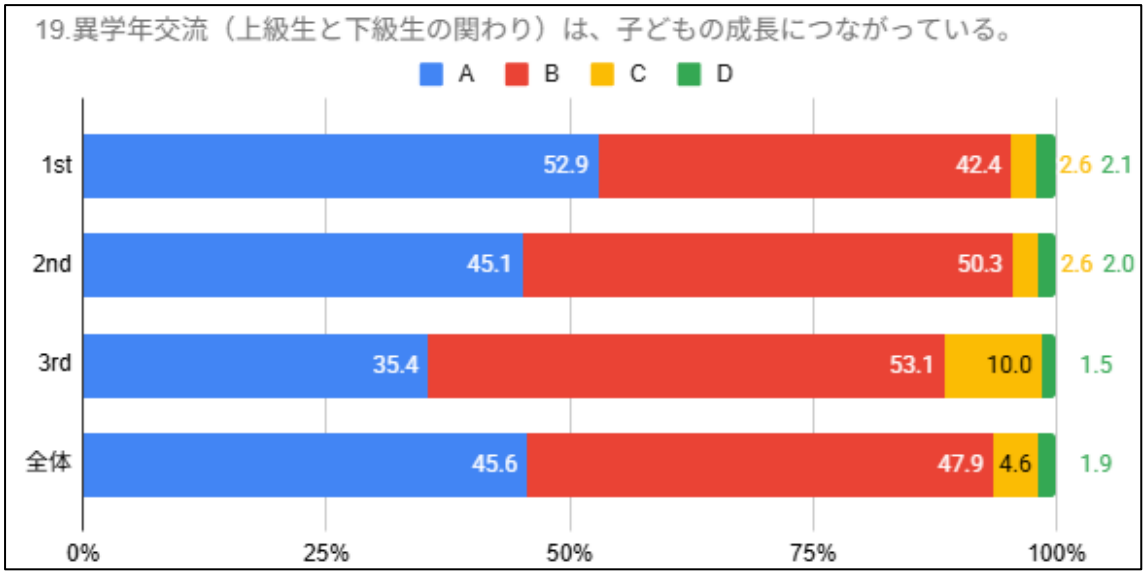
全体として肯定的な回答が 8 割台半ばとなっています。多角的な観察と指導に一定の評価が得られていると考えますが、安心感につながるようさらに努めていきます。

⑱ICT 機器を活用した学習が効果的に進められている。



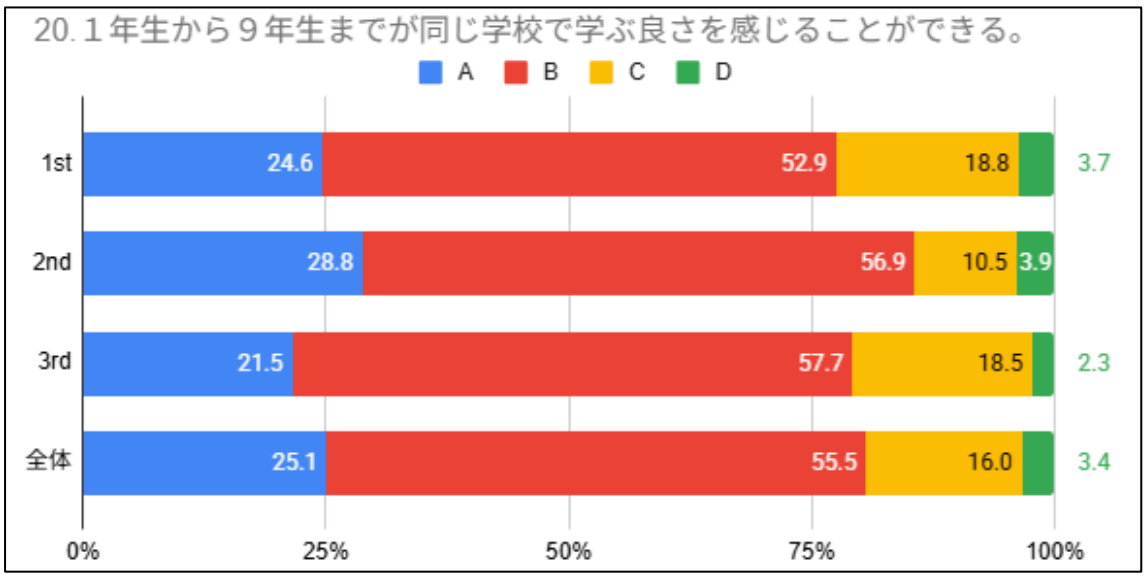
全体として肯定的な回答が 8 割台半ばを超えています。デジタルの良さを活かしつつ、子どもたちにとってより効果的な活用の仕方を工夫していきます。

⑲異学年交流（上級生と下級生の関わり）は、子どもの成長につながっている。



全体として肯定的な回答が 9 割台半ばと高い割合になっています。児童生徒アンケートの結果よりも高い値となっています。今後も施設一体型義務教育学校の強みとして、異学年交流の推進をしていきます。

⑳1 年生から 9 年生までが同じ学校で学ぶ良さを感じることができる。



全体として肯定的な回答が約８割となっています。開校して４カ月の間に、９学年がともに学ぶ学び舎であることの良さを感じていただくことができ、うれしく思います。今後も、さらにその良さを感じていただけるよう教育活動を工夫し、発信に努めていきます。

㉑その他保護者の皆様からの義務教育学校多度学園として期待することやご意見があればお聞かせください。（自由記述）

自由記述では、各学年の保護者様から 80 件の貴重なお声をいただきました。心より感謝申し上げます。特に、アンケート項目での「ややあてはまらない」「あてはまらない」の回答について、数値からだけでは見えないことや学校の教職員として改めて捉え直し、今後の教育活動を改善していくための参考にしていかなければならないことをお書きいただいたと考えております。われわれ多度学園の教職員は、励ましのお言葉も胸に、いただいたすべてのお声に目を通し、真摯に受け止め、今後の学校運営に活かしてまいります。なお、お寄せいただいたお声は、個人的なことに関わること、一部学級学年に関わること、学校全体に関わることなどさまざまですが、学校ホームページでは、学校全体に関わることについて紹介させていただき、他のことについては、各学年団より対応させていただきます。

＜具体記述＞

①チーム担任・相談体制・授業参観など

・小学一年生で、教科担任制だったり担任の先生が入れ替わったりなのに、先生方も子どもたちも対応されていて素直に本当にすごいなあと思います。ただ、多度学園の先生方だから実現できている部分が多々あるかと思うので、多度学園へというより教育委員会さんには今後の義務教育学校化をよく考えて対応してもらいたいです。また、授業参観週間と授業参観両方だったのは先生方の負担が大きすぎたと思います。学年通信がたくさんなのも、保護者としては嬉しいですがそこまでされなくても子どもから話を聞けます。期待することを聞くなら、そこまでしなくていいよという意見もよく聞いてもらって簡略化してはどうかなと思います。チーム担任制にも良し悪しがあり、クラス替えも…大変かと…先生方が元気で健康でいることが、子どもたちにとって一番幸せです。子どもも、先生とたくさん遊びたいし話したくてたまりません。すみません、私の私情が多く入ってしまいました。多度東小学校の校歌を作詞された先生が校歌の中で言われているように、強い心と道徳心の土台である「心の余裕」を、先生方にも子どもたちにも持ってほしいです。毎日遅くまで残業されている先生方のことを思うと心が痛みます。どうかそこは、見直してください。お願いします。

・子どもたちと先生方が、ありのままの自分で、人と人として関われる心の余裕をもてることだけを願います。マンモス校でも少規模校でも、最後はそこにいる人たちの心の余裕次第だと思います。メディア等から色々事情を聞きますが、教育委員会は先生方に期待しすぎないでほしい。多度学園の先生方は、子どもたちをおおらかに長い目で見てくださっていると思います。9 年生までの学校の良さはそこかと思います。子どもたちの一番近くにいるのは先生方です。転勤がなければ、小一から中三までの成長を見て下さる先生もいらっしゃるかと思います。「先生、どんどん元気になってるね。僕たちのおかげやね」と子どもたちが言えるような学校であってほしいです。それで息子が先生方から「どんどんええ表情になっとるなあ」と言っていただけたら、とても嬉しいです。

・チーム担任制について、低学年についてはやめたほうが良いと思う。
・個人懇談は１年間を通して同じ先生が担当してほしいです。
・子どもたちにとって、担任の先生がたくさんいることについては、相性もあるので、良いと思います。親目線から見ると、先生方の対応がそれぞれ違う時もあり、困惑してしまうこともあります。
・チーム担任制で、先生の負担も減るとは思うが、その分子どもたちが言ったことが忘れられやすいと思います。先生たちが、忙しいのは理解してますが、先生達から見たら何十人の一人ですが子ども達からすると担任３人の中の１人でそこの差があるように思います。
・チーム担任制の良さをまだ短期間ではありますが家庭からの目線では効果が出ていない様にお見受けします。
・児童数が増えた分、先生方の目が行き届いてない事があるのかな～と、感じる事があります。学年担任を３人で組んで頂いてるのなら、全学年、３クラス編成の少人数制にして頂きたい。
・チーム担任制は色々メリットはあるでしょうが、うちの子には関わる人数が増える分、先生との関係性が希薄になっていると感じました。生徒皆が安心してきちんと授業を受けることができる学園である事を期待します。
・懇談会の時間が短すぎると思います。ただでさえ 10 分と短いが、前の人が遅れたりしていると 5 分しか時間がないこともある。人数が多いので、時間的な制約があるのは重々承知しているが、弥富の学校などは、夏休み中に保護者の懇談会があるところもあるので、工夫次第で時間をとれるのではと思います。また、運動会の時期について、命に関わるほどの暑さの時期に練習することになるので、秋ではなく春に開催している学校が増えている。10 月開催ではなく、5 月後半開催(前半は多度祭りのため)を検討してはどうかと思います。
・チーム担任になることによって相談しやすい先生への相談が増え、負担が増えているのではないかと心配に思う。
・担任制でないと、いまどの子と仲良くしていて何をして過ごしている等、個々の事について分からないと思います。担任制にできないのであっても 1 週間ごとに先生が変わるのは意味があるのでしょうか？1 週間では短すぎかと思います。
・チーム担任制に、不安があります。

学年をチームで担任していく取組は、教員が一人で 1 つの学級すべて担当するのではなく、教員が複数の眼で、さまざまな知見から多角的な視点によって子どもたちを見守り、情報共有を密にして協働していくものです。複数学級間での指導や学習進度の差をなくし、子どもたちの悩み等にも複数で対応することで早期に対応し、解決の糸口を見出すことが 1 学期にもあったことは確かです。しかし、このことによって、ご指摘にあるような教員の余裕がない方向に働いたり、子どもたちが不安を抱えるようになっていたりしてはいけません。多くの学校では、これまで学級担任制のもと運営をしてきていて、教員もよりよい学級学年運営ができるよう日々工夫を重ね、改善に努めようとしています。2 学期以降の改善に向けて、すでに動き出していることもありますが、皆様からのお声をもとに学校として今後の取組としてさらに改善できる部分を見出し、不安が払しょくできるように努めてまいります。

②学習・進路など

・自由に考え学ぶ時間をもっともっと子どもたちに与えてあげて欲しいです。（授業参観で先生も子どもたちもあまりに時間？カリキュラム？に追われている様に思えた。）教科を越えた学習ももっと取り入れて欲しいです。ヨーロッパなどでは、近年はタブレットなどのデジタル機器を用いた学習は学力低下や集中力欠如などに結びつく懸念から脱デジタル化へ舵切りがされていると言われています。特に低学年からのタブレット学習については慎重になるべきだと思います。

・デジタルに触れることも大切ですが、アナログな教育（紙を絵を描く等）、に重点を置いてほしい。

・多度学園というよりは、昨今の義務教育全体への思いです。タブレットの活用は、よい面もあるかと思います。ですが、眼科の先生のご意見や、海外での教育についての記事などを読むと、視力や学習能力への不安も感じています。

デジタル社会が急速に進む中、令和に入り、学校においても１人１台タブレットが導入されました。児童生徒による主体的なさらなる学びの充実を図っていくために、学校ではタブレットをはじめとする「デジタル」の部分と、神と鉛筆などの「アナログ」の部分を二項対立ということではなく、児童・生徒の発達段階や学習場面に応じて「デジタル」「アナログ」双方の効果的な活用が大切であると考えています。ご指摘の通り、低学年の学校での学習が始まったころは特に、手書きによって、指先や手の動きの「運動面」や紙の感触や筆圧などの「触覚」をはじめとする五感を働かせて脳にさまざまな刺激を与えることはとても大事です。例えば「アナログ」で作文をすることは、言葉選びや筆記に時間がかかるものの、その時間がじっくり考えることを促し、考えが明確になったり、時には感情が収まったりする効果もあります。本校では、「100 マス作文」や「書写の時間」など、「アナログ」の時間も大切にしていますが、今後も発達段階に応じた効果的な学習指導と視力や姿勢などを考えた健康面についても配慮と指導助言に努めていきます。

・チャイムを鳴らさない意義を知りたい。中学生ぐらいであれば自分で時間の管理はある程度できるが、小学生の低学年では難しいと感じている。自分達でと言う割には校内に時計が少ないと思う。子供も遅れるから外には遊びに行かないようにしているなど、あまり外で遊ばなくなっている。1～4 年生ぐらいまではチャイムがあってもいいのでは。

「ノーチャイム」については、多度学園開校前の多度４小１中で導入されてきたことを継承しています。「チャイムをなくす取組」というよりも、「チャイムがなくても、自分で考え、自分で判断し、自分で動ける子どもを育てる取組」と位置付けています。低学年では教員の支援を受けながら、ステージが上がるにつれて、自分で時間を管理する、チャイムが鳴るから動くのではなく、自分で時計を確認して次の行動を考えることをめざします。ご指摘のように、時計の数については、子どもたちの実情を点検し、必要に応じた指導支援とともに、時計の数を増やすなどの工夫に努めていきます。

・まだ始まったばかりで試行錯誤の時期だと思いますが、その学年で身につけたい力(他ごとをせず話を聞く、時間で動く、身の回りの整理整頓など)をしっかり定着させてもらいたいです。
・1学期はありがとうございました。今姉妹2人を通わせて頂いていますが、娘たちや多度学園の子どもたちには集団生活の規律をしっかり身に付けて欲しいなと思っています。例えば、朝と帰りの挨拶や授業の挨拶をしっかりとし、先生や授業でお世話になる方々の話を聞く時に顔をあげ、背筋を伸ばし、目を見て話を聞く姿勢が身に付いたら素敵だと思います。 多度学園の先生方に指導して頂けるとありがたいです。 よろしくお願い致します。
・挨拶、感謝、優しさ等、人としての基本的な部分がしっかりできるような人の基本を育てる場として多度学園があって欲しいです。兄を含め9年間　旗当番をしていますが、今までと比較して挨拶をしても挨拶を返すお子さんが本当に少なかったです。たまたまかもしれませんが今まではもっとしっかり出来ていた印象なので残念でした。

子どもたちの主体性を育む教育の素地として、集団生活でのマナーや学習規律、数値には表しにくい挨拶・感謝・思いやりなどの社会性についても、家庭との連携の中で育んでいきたいと考えています。特に、生活の中で課題となる点については、教員の指導支援とともに、子ども自らが生活を振り返り、よりよい生活になるよう考え実践していくことをめざします。

・不登校で通えない生徒に対して、他の手立てがないことに、義務教育なのでしょうか。プラスの運用も期待していましたが、時間が限られすぎていて、給食も食べられないなど、制限があり、行けないから困っていて、色んな手立てを考えているのに対して、狭いのかなと感じました。
・色々な事情があるとは思いますが、できれば給食を食べ終わるまでプラスに滞在することはできないのでしょうか？今すぐは無理でも、ゆくゆくは給食まで学校にいられると良いなと思います。
・プラスで給食を食べられたら、非常にありがたいです。
・iPad を活用できる時代であれば、授業のアーカイブを配信して頂くなど、いつでも遅れを取り戻せる環境作りをして頂くことは出来ないのですか？zoom で参加するなど、出来ないのですか？行けないけれど顔出しせずに、出たい時に授業に出られるようにはなりませんか？今の時代は色んな方法が出来るのではないかと、オンライン講座を受講する実体験から感じます。

プラス（校内教育支援センター）は、開校当初から部屋を設置し、今年度より専属の担当非常勤教員が午前中プラスを運営しています。プラスで過ごす子どもたちの様子や状況を見ながら、今後の運営上の工夫改善をしつつ、教員配置については教育委員会へも要望していきます。また、タブレットを活用した学習として、現状では学校としてアーカイブを作成することは困難ですが、一定の配慮事項を学校と家庭との間で確認の上、授業のオンライン配信などは物理的に可能です。お子様の状況や要望・ニーズに応じて可能なことについては工夫し対応したいと思いますので、学年団へご相談いただきたいと思います。

・期末試験の最中に小学生の大きな歌声が聞こえてきて、気になって集中力が切れてしまったと子供から報告があった。ここまでの学校生活の実感だと、小学生に対して中学生側が配慮を強いられている場面が多いように思う。（校則も含めて）中学生も中学生らしい生活を送られるように小学生側が配慮すべきことがあるのではないか。高学年だからと我慢させるのは違うのではないか。
・前期課程との関係でテスト中や授業中に外での活動が騒がしいことが気になる。後期課程には関係のない放送が授業中にかかることが気になると子どもから聞くので改善できればお願いします。
・受験の年なのに冬に水泳授業があるのは　どうかと思う。そこまでして水泳授業をしなければいけないのでしょうか？小学生の通学時に雨の時に広がって歩くので、とても危険です。ふざけて押したりしている子供もいます。

定期テストにおける配慮事項については、改めて学校として検討し、支障がないように対応していきます。水泳授業については、プール施設建設の関係で、10 月以降の授業実施となっています。今年度は、夏場ではなく秋以降の水泳授業となります。水泳授業を実施するカリキュラムの指針となる９年生（中学校３学年）学習指導要領には、「自分の泳ぎの課題を見付け、泳法や呼吸、ペースなどを工夫し、より効率的に泳ぐことができるようになる」とあります。また、中学校３学年の「水泳」は必修ではなく、選択して履修する領域となっていますが、学習指導要領解説では、3 年間を見通した指導計画を作成することが求められています。これまで多度中学校の１・２学年で実施してきた水泳授業を受け、さらに昨年度までの開校準備の中で立案された授業計画に則って水泳授業を実施する予定です。ご理解いただきたいと思います。

③生活・安全・環境・連絡など

・子どもたちの放課後の居場所について、多度学園になってから以前より不便になったと感じています。 多度中小学校では、下校後に宿題を終えてから運動場で遊ぶ小学生が一定数いました。また、学童でも運動場へ連れて行っていただく機会があり、長期休みも含めて子どもたちが外で身体を動かす時間を確保して頂いていました。 以前の懇談会でこの件をお伝えした際、「中学生の部活動があるため小学生は使用できない」との回答をいただきました。しかし、児童期に外で身体を動かして遊ぶことは、心身の健やかな成長のためにとても重要だと思います。可能な範囲で時間や場所を工夫して、小学生にも運動場を開放していただけないでしょうか。現状では、放課後に家の中でゲームなどをして過ごす時間が増えてしまうことも懸念しています。広い敷地があるにもかかわらず、有効に活用できていないように感じます。 また、学童保育で利用できる部屋についても改善をお願いしたいです。現在は高学年以外は多度学園の校舎を利用できず、築年数の経過した狭い施設で過ごしています。外遊びも上記の理由で難しく、子どもたちが長時間過ごす環境と

して十分とは言えないと感じています。また、施設の耐震性についても不安を感じています。　共働き世帯の増加に伴い、長期休みを含めて学童を利用する家庭は今後も多いと思われます。子どもたちが健全に過ごせる放課後の居場所を確保することは、大変重要なことだと思います。

学童様と学童様を管轄する市役所担当部署とは、開校前後に協議をするなど、学童様の希望に沿った形で運営に関わって連携を図ってきています。体育館や運動場の使用についても、学校運営に支障のない範囲で開放することとしています。また、校区が広くなり、放課後に多度学園の運動場で遊ぶことが困難な子もいますが、後期課程の平日部活動は 4 日としているため、部活動をしていない日、また定期テストの前１週間やテスト期間中は、放課後運動場を利用して遊びや運動に励むことは可能ですので、今後の部活動および定期テストの予定についても適切に発信していきます。来年度は、サブグラウンドが完成予定ですので、活用方法を検討していきます。

・他県・他の市の一貫校等も参考にして、新しいこと・良いことを取り入れて良いのではと思っています。
・登下校時、猿等からの被害が非常に怖い。追い払いだけではすぐ戻ってくるので他の対策をお願いしたい。
・バスのアプリができれば嬉しい。（バスがどこを走っているかの通知など）
・いつもありがとうございます。小規模校から大規模校への移行だったため心配しましたが、先生方のおかげでとても楽しそうに通うことができています。一つお願いがあります。前期課程、後期課程に子供がいる場合、同じ内容のテトルが大量に届き、大切な内容が埋もれがちになってしまいます。テトルでの配信時、前期課程と後期課程が同じ内容の場合、世帯につき１件の配信にしていただけるととてもありがたいです。
・tetoru での配信が便利な反面、月の予定などが、新しいお知らせに埋もれてしまい、探しにくいことがあります。題名を工夫するなど、対策してほしいです。
・バスの乗車確認（登下校）をテトルからメールから入力ではなくて、専用アプリを作っていただけるとありがたいです。
・学年通信がテトル配信であるのは、ペーパーレスではありますが、行事予定などは紙でいただいた方が、見やすく、保管しやすいです。校舎の造りが複雑なので、子供達が廊下などを走り回ってけがをしないか、心配しています。義務教育学校ということにとらわれなくてもいいです。
・多度っ子テラスでの遊ぶ曜日を増やしてあげたい。楽しくない顔をして帰ってくる時が雨の翌日だったりする当日よくあります。
・学年通信にたくさん写真を載せていただいているので学校での様子が伝わり安心感がある。ブランコなどがある低学年用の広場を高学年も利用できる時間がほしいようです。時々は高学年にも解放してあげてもよいのでは。

・新しい学校なのに、掃除が行き届いていなくて残念。掃除の時間が少なすぎる。子供たちの掃除だけではどうしても限界があるので、週に 1 度ほどは業者にトイレ掃除等をしてもらえたほうが長い目でみたら学校が長持ちすると思う。学校が汚れてくると子供たちもきれいにしていこうという気持ちが無くなる気がする。
・歩きや自転車で登校して汗だくで暑いのに教室のエアコンがつけられないのが辛いと言っていた。先生が来るまでつけてはダメなルールなので仕方がないが、これからさらに暑くなると登校後涼しい教室で体をクールダウンできた方がよいのではとも思う。制服の長ズボンも暑いので、気温が 35℃を超える日は 1 日中体操服でもよいなど対策できないか。
・新しい校舎になって空調設備が整っているのはありがたいが、夏季の冷房への対策が冬のブレザーを着なさいというのはなんとかならないのか。指定でも指定でなくてもカーディガンの着用許可をしてほしい。
・新しい校舎になって空調設備が整っているのはありがたいが、夏の冷房への対策が冬のブレザーを着なさいというのがなんとかならないのか。全生徒にカーディガンの着用許可をしてほしい。

「このルールは本当に必要か」「子どもたちの学校生活の実態にあっているか」といったお声をいただきました。子どもたちの安全を守り、効果的かつ効率的にさまざまなシステムやルールの運用を始めていますが、ご指摘いただいていることについて、学校としても課題意識を持って考え始めていることもあったところです。変更・改善による良さや影響など多面的に検討を要しますが、「よりよい学校生活を送るために」という目的と、「時代や社会、子どもたちの姿が変化する中での必要性」「保護者の皆さんの利便性」などを鑑みて、即対応が可能なことから改善に結び付けていきます。

④異学年交流・9 年一貫の良さなど

・小中一貫校になったからこその活動をしていただけると嬉しいです。
・9 年生までいるため、低学年から高学年までお互いを意識できる環境にあると思います。中学生だけだと、ハジけるタイプの子もいるのである意味ブレーキがかかっていいと思います。子供も 9 年生が〜と話すこともあるので、少し遠い先の自分のイメージにも繋がるのではないでしょうか。環境としてはとても良いと思うので、後は子供たち次第…なのかもしれせん。9 年生まで一緒の環境で学ぶことで、憧れを抱いているため他の学校では学べないことや他学年との交流を今後も続けて頂きたいです。いつも親身にこども達の声に丁寧に関わっていただきありがとうございます。

⑤感謝など・その他

・授業参観の曜日を選べるのがとてもありがたかったです。
・主体的に子供達が考えて取り組める授業があることなど、とてもありがたいと思っており

ます。

・いつもお世話になっております。不安の多いスタートではありましたし、沢山ご迷惑おかけしておりますが、まずは一学期が無事終わりホッとしています。子どもが毎日「ずっと楽しい！」と言い、休まず通えている事に嬉しく思います。二学期もよろしくお願いいたします。

・いつもありがとうございます。細かく通信を配信してくださっているのでとてもわかりやすいです。お忙しい中ありがとうございます。

・アンケートの回答に「該当しない」という選択肢を作ってもらった方が実状が反映されると思います。

・いくつか、思わない、どちらかといえばそう思わないにチェックしましたが、わからない、が本音です　まだ始まったばかりなので、これからだと思います。

・いつも先生方には、子どもたちのために日々ご尽力いただき、ありがとうございます。日頃から温かく見守り、ご指導いただいていることに感謝しております。アンケートについてですが、「わからない」や「どちらでもない」といった選択肢がなく、回答に迷う設問がありました。曖昧な回答ではなくどちらかを選ぶ形式とされている意図は理解しますが、学園が始まってまだ間もないこともあり、現時点では判断が難しい内容もありました。そのような状況では、肯定か否定かの選択肢による回答だけでは実態が十分に反映されない場合もあるのではないかと感じました。 子どもたちの中にも、すぐに答えを出せないことや、「どちらとも言えない」と感じることが多くあると思います。白か黒かでは割り切れない、グレーの部分の方がたくさんあるような気がします。その間にあるグレーな困りごとは、困っている本人でも認識しづらかったり、言葉にして伝えることが難しかったり、周りから気づかれにくいことが多いのではないでしょうか。そのような繊細な子どもの気持ちや見えにくい困りごとにも目が向けられ、一人ひとりの思いや多様な考え方が尊重される教育を期待しています。子どもたちの自主性を大切にする教育方針には賛同しています。一方で、困っているときに大人が手を差し伸べることも、思いやりや人との関わり方を示し、子どもが学ぶ大切な機会と考えています。自主性を尊重することと、先生からの働きかけや対話の両立は難しいものでしょうか。自己表現が思うようにできない子も、今より少し先へと進める、一歩を踏み出すきっかけとなるような関わりや声かけをしていただけるとありがたく思います。先生や友達との人間関係の中で、それぞれの子どもが安心して自分らしく成長していけることを願っています。

・日頃の取組みありがとうございます。初年度ということで、先生たちのご苦労お察しいたします。そんな中、学年通信や学校たよりをたくさん発行していただき、子ども達の様子がよくわかります。後期課程のこともよく分かり、ありがたいです。

・学年だよりが見やすく、子どもからでは得られない情報や子ども達の様子も知れてとてもありがたいです。

・通級に関しては、大変配慮頂き、本人と交流をもって頂けて、少しずつ心を開き始めてい

て、社会とのつながりを持たせて頂いていて感謝しています。
・いつも丁寧に指導してくださり、ありがとうございます。
・高学年になってからの小中一貫校なので、本人は少しずつ学校生活や友人関係などの変化に戸惑いや良さ、色々と感じているようです。全体的なことになりますが、本来であれば、小学校 6 年間は建物や登校の仕方などが変わらず過ごせるところでだったと思います。新しい環境に慣れてきて、馴染めてきているから良いというだけではなく、途中で変化があったことに対して、どんな影響や変化があったかなど考えてもらえると、子どもの成長や小中一貫校の良さに繋がるのではないかと思います。よろしくお願いします。
・いつもご指導ありがとうございます、充実した学校生活を送ることができています。
・先生方のご指導のおかげで、中学校生活を安心して送ることができています。いつもありがとうございます。
・新しい取り組みとして小中一貫校がスタートすることに不安がありましたが、親子ともに今の生活に少しずつ慣れてきています。これから、連続した学びの良さが感じられることに期待しています。今後もよろしくお願いします。
・思春期で不安定な時期の子どもの心が、健やかに成長していける事を願っています。
・子どもの意見を尊重して頂いて、楽しく通えていてありがたいです。
・子ども達のために、いつもありがとうございます！

学校が、おたよりや懇談などを通して、子どもたちの学校での様子や成長を少しでも家庭にお伝えすることは大切な役割の１つだと考えています。「子どもたちの様子がよく分かります」と感じていただけていることは、たよりの発行に関わっている教職員にとって大きな励みとなります。今後も、様々な手段で工夫しながら、子どもたちの頑張りや成長、学校が大切にしていることなどを丁寧にお伝えしていきたいと思います。また、本アンケートでは、回答に迷う項目などに対して、回答していただく方のことを考えた選択肢になっていなかったことをお詫びいたします。今後、アンケートを実施する際にいただいたお声を活かしてまいりたいと思います。

学校は、子どもたちが一日の中で最も長い時間を過ごす大切な場所です。今回いただいた貴重なご意見・ご要望を一つひとつ精査し、できることから速やかに改善に取り組んでまいります。また、子どもたちにとって「学びたい」「やってみたい」「つながりたい」など、いろいろな「〇〇たい」のある学校となるよう、ご家庭・地域の皆さまと手を携えながら、子どもたちの笑顔と成長を支える学校づくりに努めてまいります。変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。